

福山市次世代育成支援対策推進行動計画

年次報告書

〈2006年度(平成18年度)〉

2007年(平成19年)5月

福山市

目 次

| | |
|---------------------|-------|
| 総 括 | 1 頁 |
| 目標数値等の変更について | 5 頁 |
| 個別事業の実施状況等報告書（継続事業） | 6 頁 |
| 個別事業（新規事業）報告書 | 4 6 頁 |

基本理念

みんなで創る 子育てNo.1 ONLY.1のまち ふくやま

基本目標

みんなで創る 新しい生命に出会い、育てる幸せを実感できるまち
 みんなで創る 子どもが希望をもって 生き生きと育つ喜びのあるまち
 みんなで創る 心と心で支え合う やさしさあふれる子育てのまち

| 基本方針 1 安心できる母子保健の推進 | | 指 標 | 現状値(計画初期値) | 2005年度実績 | 2006年度実績 | 目 標 値 | ま と め |
|-------------------------------|--|---|--|---|--|---|--|
| 基本 施策 | ・具体的な施策の実施状況 | | | | | | |
| 1 妊娠・出産期の支援 | ・全小学校区1名以上の「子育て支援ボランティア」の配置(養成) ・「訪問指導(すこやか育児サポート事業、産後うつ病質問票を使用した訪問)」の推進 | 子育て支援ボランティアの配置 ハイリスク児の母親の出産後の精神状態の把握及び支援等 | 52小学校区(2004年度) データなし | 59/78小学校区 - | 65/78小学校区 - | 全小学校区(2012年度) 100%(2012年度) | 妊娠中から乳児期の育児不安の解消を図る「すこやか育児サポート事業」や声かけ訪問、子育て支援の情報提供を行う「子育て支援ボランティア」の養成を継続して推進した。早期に全小学校区に1名以上のボランティアを養成する。また、乳幼児健康診査の受診率向上の取り組みや、保健師等による「乳幼児健康相談」、食育の啓発などを実施し、子どもの心身の健全な発育・発達を支援した。 |
| 2 乳幼児期から思春期までの保健対策 | ・食生活改善推進事業 子ども料理教室・講演会等食育をテーマにした講座開催 ・健康診査(乳児一般、4か月児、1歳6か月児、3歳児)の実施 ・予防接種の勧奨と情報提供 ・学校の無煙化の推進 | 朝食を欠食する習慣のある児童 ・受診率(1歳6か月児) ・受診率(3歳児) ・BCGの予防接種終了児童(6か月児) ・麻しんの予防接種終了児童(1歳6か月児) 校内全面禁煙校 | 1歳6か月児 9.6%(2001年度) 3歳児 10.4%(2001年度) データなし 70.0%(2001年度) 小中学校61校(2004年度) | すこやか育児サポート事業: 49件 産後うつ病質問票を使用した訪問件数:1,819件 - 96.9% 83.3% | すこやか育児サポート事業: 51件 産後うつ病質問票を使用した訪問件数:2,345件 2007年度の「健康ふくやま21」中間評価時に把握予定 90.6% 85.4% 97.1% 84.5% | 1歳6か月児 0%(2012年度) 3歳児 0%(2012年度) 95%以上(2012年度) 90%以上(2012年度) 90%以上(2012年度) 90%以上(2012年度) 全校実施(2007年度から) | 2007年度に食育アンケートを実施し、「福山市食育推進計画」を策定する。 「次世代育成支援推進行動計画」と整合性を図っている「健康ふくやま21」の中間評価を2007年度に行い、必要に応じて計画の見直しを行い、その後の取組みに反映させる。 |
| 3 楽しい育児の実現 | ・乳幼児健康相談の実施 | 夜10時までに寝る児童 | 1歳6か月児50.8%(2001年度) 3歳児 49.83%(2001年度) | - | 2007年度の「健康ふくやま21」中間評価時に把握予定 | 1歳6か月児80%以上(2012年度) 3歳児 80%以上(2012年度) | |
| 4 小児医療の充実 | ・在宅当番医、小児二次救急輪番体制の充実、福山市医師会による夜間小児診療所の診療の充実 | | | 2005年度実施状況 休日昼間一次診療 7医療機関(当番医) 毎夜間二次診療 小児診療4医療機関 毎夜間小児診療 (福山市医師会館) | 2006年度実施状況 休日昼間一次診療 9医療機関(当番医) 毎夜間二次診療 小児診療4医療機関 毎夜間小児診療 (福山市医師会館) | | |
| 基本方針 2 子育て家庭に対する支援の充実 | | 指 標 | 現状値(計画初期値) | 2005年度実績 | 2006年度実績 | 目 標 値 | ま と め |
| 基本 施策 | ・具体的な施策の実施状況 | | | | | | |
| 1 保育所その他の施設での保育サービスの充実 | ・保育を必要とする児童の全員入所を基本に、保育内容の充実、保護者の就労形態や生活実態の変化に対応した保育サービスを提供 | ・保育所入所児童数 ・延長保育実施箇所数 1時間延長 2時間延長 3時間延長 ・休日保育実施箇所数 ・病児・病後児保育実施箇所数 ・一時保育の1日あたり最大受入児童数 実施箇所数 ・夜間保育実施箇所数 ・「短期入所生活援助事業(ショートステイ・トワイライト)」 保護者の疾病や仕事等で、家庭で保育ができない場合に児童養護施設や乳児院で短期預かりを実施 | 11,873人(2004年度) 114箇所(2004年度) 4箇所(2004年度) 1箇所(2004年度) 6箇所(2004年度) 2箇所(2004年度) 72箇所(2005年度) 2箇所(2004年度) 2箇所(2004年度) | 12,079人 114箇所 4箇所 1箇所 6箇所 2箇所 169人 2箇所 | 12,065人 113箇所 5箇所 1箇所 6箇所 3箇所 73箇所 2箇所 | 12,000人(2009年度) 105箇所(2009年度) 13箇所(2009年度) 4箇所(2009年度) 5箇所(2009年度) 5箇所(2009年度) 75箇所(2009年度) 2箇所(2009年度) 2箇所(2009年度) | 保育を必要とする児童の全員入所を基本に保育を実施し、待機児童は発生していない。また、延長保育、休日保育、一時保育、病後児保育、夜間保育を実施し、利用者も増加しており、保護者の多様な保育ニーズに継続して対応してきた。 2007年度新規事業 * 保育所児童保育環境の改善 |

2006年度において目標値及び指標を変更したものを

2006年度(平成18年度)実施状況 総括表

| 基本方針 2 子育て家庭に対する支援の充実 | | 指 標 | 現状値(計画初期値) | 2005年度実績 | 2006年度実績 | 目 標 値 | ま と め | |
|---|--|-------------------------------|--------------|--|-------------------|-------------------|---|---|
| 基本施策 ・具体的な施策の実施状況 ・ファミリー・サポート・センター事業 子育てを応援してほしい人と子育てを応援したい人が会員となって 子育てを地域で支える事業を推進 | | 協力会員数 | 114人(2004年度) | 153人 | 161人 | 190人(2009年度) | 地域子育て支援センター事業の拡充やファミリー・サポート・センター事業等の継続によって、地域の多様な子育て支援ニーズに対応し、放課後児童クラブ事業の拡充によって、子育てと仕事の両立支援を推進した。また、子育て支援情報のガイドブック2006年度版を発行し、子育て家庭への情報提供を推進した。 2006年度から児童手当の制度改正、乳幼児等医療費助成の所得制限の緩和など、子育て家庭に対する経済的な支援を充実した。 また、「不妊治療扶助」についても、助成対象期間を2年から5年に延長し、経済的な支援を充実した。 | |
| 2 地域の多様なニーズに応えた子育て支援サービスの充実 ・地域子育て支援センター事業の充実 子育て応援センター、保育所を拠点として子育て家庭への子育て支援事業を展開 | | | | 公立7箇所 私立5箇所 | 公立7箇所 私立8箇所 | | | |
| 3 子育て家庭に対する情報提供の充実 ・2006年6月「あんしん子育て応援ガイド2006」を2005年度版に引き続き発行 ・子育て支援ホームページの充実 | | | | 2005年度版発行 | 2006年度版発行 | 検索の効率化 | | |
| 4 子育てと仕事の両立支援の推進 ・放課後児童クラブ事業 保護者の就労支援と児童の健全育成のため、授業終了後に小学校等の施設を利用して、適切な遊びや生活の場を提供 ・学習・啓発事業 子育て支援セミナー・再就職応援セミナーなどの開催 | | 実施箇所数 | 75箇所(2004年度) | 75箇所 | 74箇所 | 86箇所(2009年度) | | |
| 5 子育て家庭に対する経済的な支援 ・2006年4月から「児童手当」の支給対象年齢を小学校6年生まで拡大、所得制限を緩和、及び「乳幼児等医療費助成」の所得制限を緩和 ・2005年度から実施している「幼児インフルエンザ予防接種費補助事業」を継続 ・2006年4月から不妊治療にかかる助成期間を2年から5年に延長 | | | | | | | | |
| 基本方針 3 次代を担う世代の育成 | | 指 標 | 現状値(計画初期値) | 2005年度実績 | 2006年度実績 | 目 標 値 | | ま と め |
| 基本施策 ・具体的な施策の実施状況 1 生きる力を育成する学校の教育環境の整備 ・適応指導教室「かがやき」の運営、スクールカウンセリングプロジェクト事業の推進等(不登校対策) ・確かな学力の向上 子ども一人ひとりに応じた指導の充実、基礎基本の習得、個性を伸ばし選択能力を向上させる取組みの推進 ・少人数指導推進支援事業の推進【新規】 基礎学力の定着のために小・中学校に非常勤講師を配置 ・学校評価事業の推進【新規】 外部評価の導入による客観的かつ総合的な評価の確立 ・読書教育の推進 読書環境充実に向けて各校の蔵書を質的・量的に整備 ・キャリア教育推進事業の推進【新規】 児童生徒に確かな勤労観・職業観を身につけさせるため、中学校2年生を対象に夏期休業中の5日間、職場体験学習を実施 | | 児童生徒の健全育成の啓発、指導 不登校児童生徒出現率 | | 暴力行為、いじめ: 大幅に減少 不登校児童生徒数: 減少傾向 | 1.58% (2006年度) | 1.17% (2010年度) | | 学校教育においては、新たに、少人数指導推進支援事業を開始するとともに、継続して、英語教育、読書教育などのための環境の整備を図り、「確かな学力の向上」に努めた。また、適応指導教室の運営やスクールカウンセリングプロジェクト事業、全児童生徒の定期的な個人面接等を実施し、不登校対策を充実した。 夏期休業中には、児童生徒に確かな勤労観・職業観を身につけさせるため、5日間の職場体験学習(チャレンジウィークふくやま)を実施した。 また、地域子ども教室の内容の充実や、子育て支援ボランティアの養成等を通して、地域住民の子育て力の向上の支援と連携を図った。 |
| 2 家庭における教育力の向上 ・公民館において親子のふれあいや保護者同士の交流を図る「子育て支援交流事業」を推進 | | 事業開催数 事業開催箇所数 | 地区公民館で69回開催 | 全地区公民館(73館)で実施 | 全地区公民館(79館)で実施 | 全地区公民館(79館)で実施 | | |
| 3 地域における教育力の向上 ・子どもと地域住民との交流、子どもが安全・安心していられる場所として「地域子ども教室(子どもの居場所づくり事業)」を推進 ・生涯スポーツの振興 沼隈運動場の整備【新規】 世代間交流ができる運動場を整備 | | 実施箇所数 | 22箇所(2004年度) | 31箇所 | 36箇所 | 全学区で実施 | | |
| 4 次代の親の育成 ・保育所等において、中学生など異世代との交流を実施 | | | | | | | | |
| 【新規】2006年度新規事業のもの | | 新たに指標及び目標値を設定したもの | | 2007年度において目標値及び指標を変更したもの 2006年度において目標値及び指標を変更したもの | | | | |

2006年度(平成18年度)実施状況 総括表

| 基本方針 3 次代を担う世代の育成 | | 指 標 | 現状値(計画初期値) | 2005年度実績 | 2006年度実績 | 目 標 値 | ま と め |
|--|--|--------------|--------------------------------------|----------|----------|------------|---|
| 基本施策 ・具体的な施策の実施状況 5 児童生徒の健全育成の推進 ・性の逸脱行為,問題行動に対する指導や関係機関との連携を推進 6 地域全体との協働による子育て支援の推進 ・子育て支援ボランティアの養成,ファミリー・サポート・センター事業等を通して,地域の子育て力の向上を支援 | | | | | | | |
| 基本方針 4 援助を必要とする子育て家庭への支援 | | 指 標 | 現状値(計画初期値) | 2005年度実績 | 2006年度実績 | 目 標 値 | ま と め |
| 基本施策 ・具体的な施策の実施状況 1 児童虐待防止対策の充実 ・2005年4月に設置した「福山市児童虐待防止ネットワーク」の関係機関の連携を強化するとともに,児童虐待防止啓発講演会・研修会の開催,啓発用懸垂幕の作成,視聴覚教材の整備など啓発事業を展開 ・育児支援家庭訪問事業の充実 2 ひとり親家庭等の自立支援の推進 ・教育訓練給付金等の支給 ・2006年8月,ひとり親家庭等就業・自立支援センターを創設し,ひとり親家庭の親の自立を支援【新規】 3 障害児施策の充実 ・特別支援教育に向けた体制の整備等障害児教育の充実【新規】 ・心理相談員,保健師等による療育相談の実施 ・自立支援法の施行による早期療育,各種サービスの提供 | | 虐待していると思ったこと | 就学前12.7%(2003年度) 小学生 9.3%(2003年度) | - | - | 減少(2009年度) | 「福山市児童虐待防止ネットワーク」の円滑な運営に努め,児童虐待の未然防止,早期発見,早期対応に取り組むとともに,市民啓発事業を推進した。 また,助産師等の家庭訪問により,育児不安を抱える家庭の支援を行う育児支援家庭訪問事業を積極的に実施した。 生活基盤が脆弱であること多いひとり親家庭については,教育訓練給付金事業等のほか,ひとり親家庭等就業・自立支援センターを創設し,ひとり親家庭の親の就業・自立を支援した。 学校教育においては,特別支援教育に向けて相談体制,支援体制の整備を図った。 障害者自立支援法の施行に伴う児童デイサービスなどが提供された。 2007年度新規事業 * 障害児通園施設利用者負担軽減 |
| 基本施策 ・具体的な施策の実施状況 1 安全で,安心して子育てができるまちづくりの推進 ・「ユニバーサルデザイン」を基本とした事業の推進 2 子どもを犯罪等の被害から守るための活動の推進 ・「子ども110番の家」事業の推進,「スクールガードリーダー」の導入等子どもを犯罪被害から守る活動を推進 ・「福山市生活安全連絡会議」の設置等「子どもの安全対策」の推進 ・青色回転灯を装備した生活安全パトロール車による子どもの見守り活動 ・児童安全啓発事業【新規】 保育所・幼稚園・小学校の児童を対象とした,子ども安心安全啓発ガイドブックの作成・配布 ・パトロール用ベスト配布事業【新規】 ベスト着用による地域における子どもの見守り活動を実施 ・通学時安全確保事業の実施【新規】 通学路沿い公共施設への防犯カメラシステムの設置及び通学路への防犯灯の設置,小学校新入生への防犯ブザー,ランドセルシールの配布 ・緊急通報システムの整備【新規】 市内の保育所,幼稚園,放課後児童クラブへ緊急通報システムを整備 ・不審者情報等配信事業の実施【新規】 児童の安全確保のため,児童の保護者等に不審者情報等をメールで配信(2006年7月より不審者情報をメール配信) 3 子どもを取り巻く有害環境対策の推進 ・「少年社会環境浄化モニター」による実態調査及び啓発活動を実施 4 子どもの交通安全を確保するための活動の推進 ・保育所,幼稚園,小学校児童を対象とした「交通安全教室」の開催 | | | | | | | 「ユニバーサルデザイン」の啓発・推進,及び,地域,警察と連携して防犯体制の整備や青少年補導員協議会やPTA等との連携による青少年の非行防止活動を継続して実施した。 また,「子どもの安全対策」として,保育所・幼稚園等への緊急通報システムの整備,不審者情報等配信,通学路の安全対策事業等を重点的に取り組んだ。地域においても,住民による子どもの通学時の見守り活動が,「協働」の取組みとして継続されている。 2007年度新規事業 * 地域安全マップ普及推進事業 |

【新規】2006年度新規事業のもの

2006年度（平成18年度）実施状況 総括表

総 括

行動計画の2年度目にあたる2006年度（平成18年度）は、3月に合併した旧神辺町の行動計画との事業調整を行い、概ね着実に事業が進められた。今後の事業展開にあたっては、本行動計画を着実に推進することを基本としながら、国・県・他都市の動向や地域のニーズ、財政状況等総合的に勘案して推進する。

- 本行動計画と整合性を図っている「健康ふくやま21」の中間評価の結果や、各事業の実施状況に応じて、目標数値の見直し等を行い、新たな目標に向けて計画を推進していく。

2006年度（平成18年度）は、「子どもの安全対策」の充実が重点的に取り組まれ、子どもを犯罪等の被害から守る事業を積極的に展開するとともに、市民の高い関心のもと、地域で協働して取り組みを進めた。

新しい事業や制度の計画・実施については、効果的かつ効率的に市民へ情報提供を行う中で実施する。

〔計画当初〕

| | | | |
|------------|-----------|------|----|
| 基本方針 | 5 | 基本施策 | 22 |
| 個別事業数 | 86（重複を除く） | | |
| うち数値目標設定事業 | | | 17 |

〔2006年度〕

| | | | |
|----------|------------|--|----|
| 個別事業数 | 116（重複を除く） | | |
| うち | | | |
| 新規追加事業 | | | 15 |
| 数値目標設定事業 | | | 24 |

〔2007年度〕

| | | | |
|----------|------------|--|----|
| 個別事業数 | 119（重複を除く） | | |
| うち | | | |
| 新規追加事業 | | | 3 |
| 数値目標設定事業 | | | 27 |

福山市行動計画における2009年度(平成21年度)目標数値等の変更について

2006年度変更分

| コード | 個別事業名 | 指標 | 現状値 (計画初期値) | 2005年度実績 | 目標値 (変更前) | 目標値 (変更後) |
|-------|-----------------------|---------------|-----------------------------------|-------------------------------|-----------------------------------|------------------------------|
| 1-2-9 | 学校の無煙化 | 校内全面禁煙校 | 小中学校61校 (2004年度) | 小中学校89校/105校 | 全校実施 (2005年度) | 全校実施 (2007年度から) |
| 2-1-1 | 保育サービスの充実 保育所入所児童数 | 保育所入所児童数 | 10,755人(2004年度) 1,118人(2004年度) | 10,907人 1,172人 | 10,800人(2009年度) 1,208人(2009年度) | 12,000人 (2009年度) |
| | | 延長保育 | 延長保育実施箇所数 | 103箇所(2004年度) 11箇所(2004年度) | 103箇所 11箇所 | 94箇所(2009年度) 11箇所(2009年度) |
| | | 1時間延長 | 3箇所(2004年度) 1箇所(2004年度) | 3箇所 1箇所 | 12箇所(2009年度) 1箇所(2009年度) | 13箇所 (2009年度) |
| | | 2時間延長 | 81人(2004年度) 55人(2004年度) | 153人 16人 | 135人(2009年度) 28人(2009年度) | |
| | 一時保育 | 1日あたりの最大受入児童数 | | 64箇所 8箇所 | | 75箇所 (2009年度) |
| 2-1-4 | 放課後児童クラブ事業 | 実施箇所数 | 67箇所(2004年度) 8箇所(2004年度) | 67箇所 8箇所 | 68箇所(2009年度) 8箇所(2009年度) | 74箇所 (2009年度) |
| 2-2-7 | 子育て支援交流事業 | 事業開催数 | 地区公民館で 69回開催 | | 地区公民館で 73回開催 | |
| | | 事業開催箇所数 | | 全地区公民館(73館)で開催 | | 全地区公民館 (79館)で開催 |
| 3-3-4 | 地域子ども教室(子どもの居場所づくり事業) | 実施箇所数 | 16箇所(2004年度) 6箇所(2004年度) | 25箇所 6箇所 | 72箇所(2006年度) 6箇所(2006年度) | 36箇所 (2006年度) |

下段は、神辺町分

2007年度変更分

| コード | 個別事業名 | 指標 | 現状値 (計画初期値) | 2006年度実績 | 目標値 (変更前) | 目標値 (変更後) |
|------------------|------------------------------|----------------------------|--|--|------------------|--------------------|
| 1-2-2 | 食生活改善推進事業 | 講話会等の開催回数 | 各小学校1.5回 (2006年度) | 各小学校1.5回 | | 各小学校2回 (2007年度) |
| 2-1-7 | ファミリー・サポート・センター事業 | ファミリー・サポート・センター協力会員数 | 114人 (2004年度) | 161人 | 160人 | 190人 (2009年度) |
| 2-4-4 | 放課後児童クラブ事業 | 放課後児童クラブ開設か所数 | 75か所 (2004年度) | 74か所 | 74か所 (2009年度) | 86か所 (2009年度) |
| 3-1-1 | 確かな学力の向上 | 基礎基本定着状況調査の正答率を全実施教科で80%以上 | 小学校: 国75.4%, 算78.4% 中学校: 国80.9%, 数68.8% 英72.5%(2006年度) | 小学校: 国75.4%, 算78.4% 中学校: 国80.9%, 数68.8%, 英72.5% | | 80% (2010年度) |
| 3-1-3 | 読書教育の推進 | 全学校における学校図書館図書標準の達成 | 小学校達成 56校/78校 中学校達成 19校/36校 (2006年度) | 小学校達成 56校/78校 中学校達成 19校/36校 | | 全校100% (2007年度) |
| 3-1-5 | 不登校児童生徒への取組 | 暴力行為, いじめ, 不登校児童数 | | | 半減 | |
| | | 不登校児童生徒出現率 | 1.58% (2006年度) | 1.58% | | 1.17% (2010年度) |
| 3-3-4 (3-5-7) | 子どもの居場所づくり事業 (地域子ども教室)の推進 | 地域子ども教室実施箇所数 | 22箇所 (2004年度) | 36箇所 | 36箇所 (2006年度) | 全学区で実施 (2009年度) |

| 変 更 理 由 |
|---|
| 神辺町との合併による変更 |
| 目標数値の達成, 神辺町との合併及び国の目標指数(実施箇所数)に合わせての変更 |
| 神辺町との合併による変更 |
| 目標数値の達成及び神辺町との合併による変更 |
| 事業の進捗状況に合わせて変更 |

| 変 更 理 由 |
|--|
| 新たに目標数値を設定 |
| 目標値の達成による変更 |
| 大規模クラブの解消に向けた目標指標及び目標数値の変更 |
| 新たに目標数値を設定 |
| 新たに目標数値を設定 |
| 目標指標を「不登校児童生徒出現率」に変更 |
| 事業内容の充実及び進捗状況に合わせて変更 「地域子ども教室」「放課後子ども教室」に2007年度から変更 |

福山市次世代育成支援対策推進行動計画における
具体的な施策(個別事業)の実施状況等報告書

【継続事業用】

| コード | 基本方針 - 基本 施策 - 個別事業 | 1 - 1 - 1 (1-3-1・2-2-6・2-3-4・3-6-2・4-1-2) | 1 - 1 - 2 | 1 - 1 - 3 |
|-------------------|------------------------|---|--|---|
| 担当部課 | | 保健所総務課 | 保健所健康推進課 | 保健所健康推進課 |
| 具体的な施策 (個別事業名) | | 子育て支援ボランティア事業 | 母子健康手帳の交付 | 妊婦一般健康診査 |
| 事業概要 | | 子育て支援ボランティアを養成し、市保健師との連携により、保護者の話し相手になったり、子育ての情報提供を行うもの | 安全な妊娠・出産のための情報提供や妊娠・出産・子育てに関する一貫した記録など母子が自らの健康管理に活用するための手帳を交付し、母子保健事業を啓発するもの | 医療機関において、問診、診療、血液検査等を行い、妊婦の健康確保を図るもの |
| 数値目標等 | | 子育て支援ボランティアの配置 | - | - |
| 現状値 | | 52小学校区(2004年度) | - | - |
| 目標値 | | 全ての小学校区(2012年度) | - | - |
| 06年度実施状況等 | 実績値 | 65小学校区 / 78小学校区 | | |
| | 区分 | 【 継続 新規 】 | 【 継続 新規 】 | 【 継続 新規 】 |
| | 実施内容及び課題等 | <ul style="list-style-type: none"> 全小学校区に1名以上の子育て支援ボランティアを登録(養成)することを目標に、2003年度から子育て支援ボランティアの養成を実施 78小学校区中65小学校区への登録を行い、声かけ訪問を実施 同行訪問・声かけ訪問件数 延252件 今後は、未登録学区を中心に募集を行い、2007年度においては、全小学校区への登録を行う必要がある。 | <ul style="list-style-type: none"> 市民課、各支所・分室等で妊娠届をした人に交付している。 交付数4,828冊(2006年度から外国語日本語併記母子健康手帳30冊を含む。その種類は、ポルトガル語・タガログ語・中国語・英語・ハンダ語・タイ語・インドネシア語・スペイン語の8か国である) | <ul style="list-style-type: none"> 妊婦が、かかりつけ医において、妊娠中に妊婦一般健康診査受診票を用いて、2回受診している。 受診件数 8,938件 |
| 2007年度計画 | | 【 継続 廃止 】 | 【 継続 廃止 】 | 【 継続 廃止 】 |
| | | <ul style="list-style-type: none"> 子育て支援ボランティアの養成講座の開催 子育て支援ボランティアフォローアップ講座の開催 健康な乳幼児を持つ家庭への声かけ訪問の推進 乳幼児健康相談や離乳食講習会などにおける子育て支援活動の推進 | 母子健康手帳の交付予定数5,600冊(妊娠届出数により変化するものであり目標数ではない)引き続き外国語日本語併記母子健康手帳を交付する。 | 妊婦一般健康診査受診票9,700件(妊婦数により変化するものであり目標数ではない。) |
| (予算額:千円) | | 141 | 1 - 2 - 4 に含む | 1 - 2 - 6 に含む |
| 備考 (特記事項) | | 声かけ訪問のボランティア活動については、健康推進課及び各保健事業実施課と連携して実施 | | |

福山市次世代育成支援対策推進行動計画における
具体的な施策(個別事業)の実施状況等報告書

【継続事業用】

| コード | 基本方針 - 基本 施策 - 個別事業 | 1 - 1 - 4 (1 - 2 - 5 ・ 1 - 3 - 2) | 1 - 2 - 1 | 1 - 2 - 2 | | | | | | | | | | | | | |
|-------------------|---|--|--|--|--|--|-----|--------|-----|----------------------|-------|---|----------------|---------------------|--------|---|----------------|
| 担当部課 | 保健所健康推進課 | 保健所健康推進課 | 保健所健康推進課 | 保健所健康推進課 児童部保育課 | | | | | | | | | | | | | |
| 具体的な施策 (個別事業名) | 訪問指導(すこやか育児サポート事業, 産後うつ病質問票を使用した訪問) | 乳幼児の事故防止 | 乳幼児の事故防止 | 食生活改善推進事業 | | | | | | | | | | | | | |
| 事業概要 | 産婦人科医, 小児科医, 市保健師が協力し, 妊娠中から乳児期の子育て不安に対して, 小児科医の保健指導や保健師の家庭訪問を行うもの | 不慮の事故による乳幼児の死亡を防ぐための取り組みをするもの | 不慮の事故による乳幼児の死亡を防ぐための取り組みをするもの | 偏食防止, 朝食摂取等子どもに望ましい食生活を身につける啓発を推進するもの | | | | | | | | | | | | | |
| 数値目標等 | 妊娠・出産に満足している人 | 現状値 データなし | 2006年度 - | 目標値 100% (2012年度) | <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>現状値</th> <th>2006年度</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>朝食を欠食する習慣のある児童(16歳児)</td> <td>9.60%</td> <td>-</td> <td>0% (2012年度)</td> </tr> <tr> <td>朝食を欠食する習慣のある児童(3歳児)</td> <td>10.40%</td> <td>-</td> <td>0% (2012年度)</td> </tr> </tbody> </table> | | 現状値 | 2006年度 | 目標値 | 朝食を欠食する習慣のある児童(16歳児) | 9.60% | - | 0% (2012年度) | 朝食を欠食する習慣のある児童(3歳児) | 10.40% | - | 0% (2012年度) |
| | | 現状値 | 2006年度 | 目標値 | | | | | | | | | | | | | |
| | 朝食を欠食する習慣のある児童(16歳児) | 9.60% | - | 0% (2012年度) | | | | | | | | | | | | | |
| | 朝食を欠食する習慣のある児童(3歳児) | 10.40% | - | 0% (2012年度) | | | | | | | | | | | | | |
| 現状値 | 妊娠の喫煙率 | データなし | - | 0% (2012年度) | | | | | | | | | | | | | |
| 目標値 | ハイリスク児の母親の出産後の精神状態の把握 | データなし | - | 100% (2012年度) | | | | | | | | | | | | | |
| 実績値 | - | - | - | - | | | | | | | | | | | | | |
| 区分 | 【 継続 新規 】 | 【 継続 新規 】 | 【 継続 新規 】 | 【 継続 新規 】 | | | | | | | | | | | | | |
| 06年度実施状況等 | <p>ハイリスク妊婦及びハイリスク児等の訪問を実施して育児不安の軽減に努めるとともに, 育児支援家庭訪問事業と連携してハイリスク家庭を支援している。</p> <p>すこやか育児サポート事業 51件 産後うつ病質問票を使用した訪問件数: 2,345件</p> <p>(課題) ハイリスク児等の家庭訪問は, 主に出生時に保護者が提出する「赤ちゃん相談票」の情報を基に実施しているが, 提出率が86.6%であり, 未提出の児は乳児期早期の支援がしにくい現状である。</p> | <p>乳幼児健康相談及び乳幼児健康診査時などで, 事故防止についての啓発を実施している。</p> <p>(参考) 4歳までの不慮の事故死亡数及び率 2004年度 3件(14.7%) 2005年度 2件(9.8%)</p> | <p>2007年度の「健康ふくやま21」中間評価時に把握予定</p> <p>公民館等で子どもを対象に「食育」を中心とした料理教室を開催した。 (食生活改善推進員による料理教室実施など) 市民向けに食育講演会の開催 食生活改善推進員を対象に食育講演会 福山市食育推進計画策定に向けて関係者の研修会の開催 保育所保護者・支援活動に参加した地域の保護者を対象に「身近な食材・旬の野菜を使用した簡単のできる調理」をテーマに食生活の大切さについて栄養士・技術員が講話・実演を行った。</p> | | | | | | | | | | | | | | |
| 2007年度計画 | 【 継続 廃止 】 すこやか育児サポート事業 140件 「赤ちゃん誕生届出カード」(旧: 赤ちゃん相談票の名称変更)の提出率の向上に努める。 「赤ちゃん誕生届出カード」の情報をもとに, 乳児期早期の訪問指導を推進する。 | 【 継続 廃止 】 4歳までの不慮の事故死亡率0をめざして取り組みを継続 | 【 継続 廃止 】 | 【 継続 廃止 】 2006年度事業に加え, 食育アンケートを実施し集計分析の後, 福山市食育推進計画を策定し, 小学生及びその保護者を対象に「食育」を中心とした料理教室を開催 2006年度実施内容を継続するとともに, 福山市保育カリキュラム(試案)のなかの「食育」の視点を再検討し保育に活かしていく | | | | | | | | | | | | | |
| (予算額:千円) | 1 - 2 - 4 に含む | 1 - 2 - 4 に含む | 1 - 2 - 4 に含む | 158 | | | | | | | | | | | | | |
| 備考 (特記事項) | | | | 予算額は健康推進課分のみ | | | | | | | | | | | | | |

福山市次世代育成支援対策推進行動計画における
具体的な施策(個別事業)の実施状況等報告書

【継続事業用】

| | | | | |
|-------------------|---------------------------------------|--|--|---|
| コード | 基本方針 - 基本 施策 - 個別事業 | 1 - 2 - 2 | 1 - 2 - 3 (1 - 3 - 3) | 1 - 2 - 4 |
| 担当部課 | (教) 学校教育部学校保健課 | | 保健所健康推進課 | 保健所健康推進課 |
| 具体的な施策 (個別事業名) | 食生活改善推進事業 | | 離乳食講習会 | 乳幼児健康相談 |
| 事業概要 | 偏食防止, 朝食摂取等子どもに望ましい食生活を身につける啓発を推進するもの | 離乳食の必要性, すすめ方, 作り方などを指導し, 試食の機会を提供するもの | 乳幼児の問診, 身体測定, 発育・発達の確認, 育児相談, 歯科相談, 栄養相談を行うことで乳幼児の心身の健全な発育・発達を支援するもの | |
| 数値目標等 | 講話会等の開催回数 | - | | 夜10時までに寝る児童 |
| 現状値 | 各小学校1.5回(2006年度) | - | | 1歳6か月児: 50.8% (2001年度) 3歳児: 49.3% (2001年度) |
| 目標値 | 各小学校2回(2007年度) | - | | 1歳6か月児: 80.0%以上(2012年度) 3歳児: 80.0%以上(2012年度) |

| | | | | |
|--------------|--|---|--|---|
| 06年度実施状況等 | 実績値 | 各小学校1.5回 | | 2007年度の「健康ふくやま21」 中間評価時に把握予定 |
| | 区分 | 【継続 新規】 | 【継続 新規】 | 【継続 新規】 |
| 実施内容及び課題等 | <p>○公立幼稚園, 小学校等における栄養士による「食育」に関する講話</p> <p>○小学校等で子どもや保護者を対象に「食育」を中心とした料理教室の開催</p> <p>【課題】 参加される親は多くの方が「食育」に関心のある人であり「食育」に関心のない人にどうアタックしていくかが課題である。</p> | <p>離乳食の必要性, すすめ方, 作り方を指導し, 試食の機会を提供, 健全な食習慣の確立をめざすために離乳食の意義・方法について指導した。</p> <p>実施回数 44回 参加者数 延べ819人</p> | <p>保健師, 歯科衛生士, 栄養士による健康相談を実施している。</p> <p>また, 図書館司書による「絵本と出会うふれあい事業」を同時に実施している。</p> <p>保護者同士の友達づくりの場となっている。</p> | |
| 2007年度計画 | 【継続 廃止】 | 各小学校において, 講話会等を2回実施する。 また2006年度同様に, 可能な限り幼稚園等にも実施していく。 | 【継続 廃止】 2006年度と同様に実施する。 | 【継続 廃止】 2006年度と同様に実施する。 「健康ふくやま21」の中間評価時において, 現状値を把握する。 |
| (予算額:千円) | | | 1 - 2 - 4 に含む | 6,099 |
| 備考 (特記事項) | 新たに目標値を設定 | | | |

福山市次世代育成支援対策推進行動計画における
具体的な施策(個別事業)の実施状況等報告書

【継続事業用】

| コード | 基本方針 - 基本 施策 - 個別事業 | 1 - 2 - 6 | 1 - 2 - 7 | 1 - 2 - 8 (3 - 4 - 2) |
|-------------------|---|---|---|---|
| 担当部課 | | 保健所健康推進課 | 保健所健康推進課 | 保健所保健予防課 他() |
| 具体的な施策 (個別事業名) | | 乳児一般健康診査, 4か月児健康診査, 1歳6か月児健康診査, 3歳児健康診査 | 予防接種 | 思春期の保健対策 |
| 事業概要 | | 医療機関等において乳児の疾病, 障害の早期発見, 心身の健全な発育・発達などを促すとともに, 親の育児不安を解消するため, 乳幼児の健康診査を実施するもの | 子どもの疾病予防のため, 予防接種の勧奨及び情報提供を行うもの | 小中学生への喫煙・飲酒防止教室の実施, 性や性感染症に関する正しい知識の普及・啓発を行うもの |
| 数値目標等 | | 幼児健診の受診率 | 現状値 2006年度 目標値 | 現状値 2006年度 目標値 |
| | 現状値 | 1歳6か月児: 89.0% (2001年度) 3歳児: 82.4% (2001年度) | データなし | 97.1% |
| 目標値 | 1歳6か月児: 95.0%以上 (2012年度) 3歳児: 90.0%以上 (2012年度) | 1.6歳までに 麻しんの予防 接種済みの 児童 | 70% (2001年度) | 84.5% |
| | | | 90%以上 (2012年度) | 90%以上 (2012年度) |
| 実績値 | | 1歳6か月児: 90.6% 3歳児: 85.4% | | |
| | 区分 | 【継続 新規】 | 【継続 新規】 | 【継続 新規】 |
| 06年度実施状況等 | 実施内容及び課題等 | 乳幼児の健康診査は, 個別健康診査(乳児一般健康診査・4か月児健康診査)と集団健康診査(1歳6か月児健康診査・3歳児健康診査)で実施している (課題) 未受診者の減少を目指し, 未受診者対策を推進する。 | 広報, 乳幼児健康相談, 幼児健康診査の場などにおいて予防接種の勧奨を行った。 家庭, 保育所, 幼稚園, 小中学校に予防接種の種類, 接種時期等の情報を提供した。 保育所, 幼稚園, 学校において子どもに予防接種の勧奨を行った。 | 2007年度の「健康ふくやま21」中間評価時に把握予定 |
| | | | | 小中学校での喫煙・飲酒防止教育講座(小学校13校・中学校3校, その内小学校3校と中学校2校は薬物防止教育を実施した。) 小中学校における「生と性」の講演会として, 小学校1校・中学校2校で実施した。 小中学生の喫煙・飲酒に対する防止として, 地域における補導活動や青少年センターによる常時・合同・特別補導活動を実施した。 |
| 2007年度計画 | | 【継続 廃止】 1歳6か月児: 50回 (受診率 91.0%) 3歳児: 50回 (受診率 85.5%) | 【継続 廃止】 2006年度と同様あらゆる機会において, 予防接種の勧奨及び情報提供をしていく。 ポリオ予防接種については, 市民の接種機会を増やす目的で, 秋には個別接種を実施する予定である。 | 【継続 廃止】 喫煙・飲酒防止教育講座を実施する。 小中学校における「生と性」の講演会を実施する。 子どもを産み育てるために適正な体重の意義の啓発をする。 小中学生の喫煙・飲酒に対する防止として, 地域における補導活動や青少年センターによる常時・合同・特別補導活動を実施する。 |
| | (予算額:千円) | 150,643 | 204,859 | 64 |
| 備考 (特記事項) | | | | ()その他の関係部署 青少年課 保健所総務課 健康推進課 学校保健課 指導課 |

福山市次世代育成支援対策推進行動計画における
具体的な施策(個別事業)の実施状況等報告書

【継続事業用】

| | | | | |
|-------------------|------------------------------------|--|-----------|---|
| コード | 基本方針 - 基本 施策 - 個別事業 | 1 - 2 - 9 | 1 - 4 - 1 | 2 - 1 - 1 (2 - 4 - 3) |
| 担当部課 | (教) 学校教育部指導課 | | 保健所総務課 | 児童部庶務課 |
| 具体的な施策 (個別事業名) | 学校の無煙化の推進 | | 小児医療の充実 | 保育サービスの充実 (保育所入所児童数) |
| 事業概要 | 学校において喫煙防止教育を実施するとともに、校内全面禁煙を推進する。 | 在宅当番医，小児二次救急輪番病院，福山市医師会による福山小児診療所の休日，夜間診療の充実 | | 保育を必要とする児童の全員入所，児童一人ひとりの人権を大切にする心を育てる保育の充実，保護者の就労形態や生活実態の変化に対応できる保育サービスの充実を推進するもの |
| 数値目標等 | 学校の無煙化の推進 | | - | 入所児童数 |
| 現状値 | 小中高校61校(2004年度) | | - | 11,873人(2004年度) |
| 目標値 | 全校実施(2007年度から) | | - | 12,000人(2009年度) |

| | | | | |
|--------------|-----------|--|---|--|
| 06年度実施状況等 | 実績値 | 小中高校105校/115校 | | 12,065人 |
| | 区分 | 【 継続 新規 】 | 【 継続 新規 】 | 【 継続 新規 】 |
| | 実施内容及び課題等 | 2006年4月から旧福山市内(神辺町を除く)の小中105校について校内全面禁煙を実施 神辺町小中学校(9校)には、1年間の移行期間を設定 市立高校を含む全市立小中高115校で校内全面禁煙を推進 | 休日における昼間の一次診療を市内9医療機関の当番医により実施 毎夜間における二次診療を市内8医療機関(小児は4医療機関)で輪番により実施 福山市医師会が毎夜間、医師会館において小児診療を実施 | 〔実施内容〕 ・途中入所による弾力的な入所児童の受け入れ ・入所定員の拡大 |
| 2007年度計画 | | 【 継続 廃止 】 全校(小学校78, 中学校36, 高校1)で校内全面禁煙実施 地域，関係団体への啓発活動の継続 喫煙防止教育の充実 | 【 継続 廃止 】 2006年度と同様に実施 | 【 継続 廃止 】 12,100人 |
| (予算額:千円) | | 0 | 84,061 | 12,034,896 |
| 備考 (特記事項) | | | | 児童数は、各年度3月1日現在 2007計画 公立6,010人 私立6,090人 |

福山市次世代育成支援対策推進行動計画における
具体的な施策(個別事業)の実施状況等報告書

【継続事業用】

| | | | | |
|-------------------|------------------------|---|---|---|
| コード | 基本方針 - 基本 施策 - 個別事業 | 2 - 1 - 1 (2 - 4 - 3) | 2 - 1 - 1 (2 - 4 - 3) | 2 - 1 - 1 (2 - 4 - 3) |
| 担当部課 | | 児童部庶務課 | 児童部庶務課 | 児童部庶務課 |
| 具体的な施策 (個別事業名) | | 保育サービスの充実 (延長保育 1 時間延長) | 保育サービスの充実 (延長保育 2 時間延長) | 保育サービスの充実 (延長保育 3 時間延長) |
| 事業概要 | | 保護者の就労形態の多様化等 に伴い保育所の開所時間を超え て保育を行うもの | 保護者の就労形態の多様化等 に伴い保育所の開所時間を超え て保育を行うもの | 保護者の就労形態の多様化等 に伴い保育所の開所時間を超え て保育を行うもの |
| 数値目標等 | | 実施箇所数 | 実施箇所数 | 実施箇所数 |
| | 現状値 | 114箇所 (2004年度) | 4箇所 (2004年度) | 1箇所 (2004年度) |
| | 目標値 | 105箇所 (2009年度) | 13箇所 (2009年度) | 4箇所 (2009年度) |

| | | | | |
|---------------------------|---------------|--|---|---|
| 06 年度 実施 状況 等 | 実績値 | 113箇所 | 5箇所 | 1箇所 |
| | 区分 | 【継続 新規】 | 【継続 新規】 | 【継続 新規】 |
| | 実施内容 及び課題等 | (実施内容) ・公立保育所(73所)及び私立保育 所(40所)で実施 2006年度 公立 73所 私立 40所 | (実施内容) ・私立保育所(5所)で実施 2006年度 私立5所 | (実施内容) ・私立保育所(1所)で実施 2006年度 私立1所 |
| 2007年度計画 | | 【継続 廃止】 112箇所 | 【継続 廃止】 5箇所 | 【継続 廃止】 1箇所 |
| (予算額:千円) | | 243,035 | 39,442 | 11,478 |
| 備考 (特記事項) | | 2007年度 公立70所 私立42所 法人移管分2所有 予算額は私立分のみ | 2007年度 公立 - 私立 5 予算額は私立分のみ | 2007年度 公立 - 私立 1 予算額は私立分のみ |

福山市次世代育成支援対策推進行動計画における
具体的な施策(個別事業)の実施状況等報告書

【継続事業用】

| | | | | |
|-------------------|------------------------|---|---------------------------------|--|
| コード | 基本方針 - 基本 施策 - 個別事業 | 2 - 1 - 1 (2 - 4 - 3) | 2 - 1 - 1 (2 - 4 - 3) | 2 - 1 - 1 (2 - 4 - 3) |
| 担当部課 | | 児童部庶務課 | 児童部庶務課 | 児童部庶務課 |
| 具体的な施策 (個別事業名) | | 保育サービスの充実 (休日保育) | 保育サービスの充実 (夜間保育) | 保育サービスの充実 (病児・病後児保育) |
| 事業概要 | | 保護者の就労形態の多様化に 対応するため、日曜・祝日の保 育を行うもの | 夜間、保護者の就労等による 保育ニーズへの対応を図るもの | 病気の状態(回復期を含む) にある児童で、集団保育等が困 難な場合に医療機関に付設され た専用スペースで一時的に預か るもの |
| 数値目標等 | | 実施箇所数 | 実施箇所数 | 実施箇所数 |
| | 現状値 | 6箇所(2004年度) | 2箇所(2004年度) | 2箇所(2004年度) |
| | 目標値 | 5箇所(2009年度) | 2箇所(2009年度) | 5箇所(2009年度) |

| | | | | |
|---------------------------|---------------|---|---|--|
| | 実績値 | 6箇所 | 2箇所 | 3箇所 |
| | 区分 | 【継続 新規】 | 【継続 新規】 | 【継続 新規】 |
| 06 年度 実施 状況 等 | 実施内容 及び課題等 | (実施内容) 公立(1所),私立(5所)で実施して おり、保育ニーズも高い。 利用者数 2004年度 1,883人 2005年度 1,846人 2006年度 1,818人 | (実施内容) 私立保育所2施設で実施 (開所時間午前10時～翌日午前2 時) | (事業内容) 2006年度 医療機関 3施設 2006年度当初に実施施設が1施設 増えたこともあり、延べ利用児童数 も増加している。 新規実施施設の開設に向け取り組 みを継続的に行っており、早期実 施に向け協議を続ける。 |
| | 2007年度計画 | 【継続 廃止】 6箇所 | 【継続 廃止】 2箇所 | 【継続 廃止】 2007年度 3箇所 |
| | (予算額:千円) | - | - | 22,784 |
| | 備考 (特記事項) | 2007年度 公立 1 私立 5 | 2007年度 公立 - 私立 2 | 2007年度 3箇所 |

福山市次世代育成支援対策推進行動計画における
具体的な施策(個別事業)の実施状況等報告書

【継続事業用】

| | | | | |
|-------------------|------------------------|--|---|--|
| コード | 基本方針 - 基本 施策 - 個別事業 | 2 - 1 - 1 (2 - 4 - 3) | 2 - 1 - 2 (3 - 1 - 6) | 2 - 1 - 3 |
| 担当部課 | | 児童部庶務課 | 児童部保育課 学校教育部指導課 | 児童部庶務課 |
| 具体的な施策 (個別事業名) | | 保育サービスの充実 (一時保育) | 保育所・幼稚園の連携・就学前 教育・保育と小学校の連携 | 就学前施設の再整備 |
| 事業概要 | | 保育所に入所していない就学前児童を、保護者の傷病・入院、災害・事故、育児等に伴う心理的・肉体的負担の解消を図るため、緊急・一時的に預かるもの | 保育所・幼稚園それぞれの特性を活かした多様な保育・教育の提供及び幼児期の教育と小学校以降の教育との円滑な移行を図るため、保育所・幼稚園と小学校間の連携を図る。 | 今後の児童数の推移、地域の実態、保護者のニーズ、施設の老朽化などに応じた保育所の再整備を行うもの |
| 数値目標等 | | 当初目標：1日当たり最大受入児童数 変更後目標：実施施設数 | - | - |
| 現状値 | | 72箇所(2005年度) | - | - |
| 目標値 | | 75箇所(2009年度) | - | - |

| | | | | |
|---------------------------|---------------|--|---|--|
| 06 年度 実施 状況 等 | 実績値 | 73箇所 | | |
| | 区分 | 【継続 新規】 | 【継続 新規】 | 【継続 新規】 |
| | 実施内容 及び課題等 | (実施内容) 2006年度 実施施設数 73所 公立61所 私立12所 実施施設数、利用児童数ともに増加しており、保育所未入所児童の保護者の子育てを支援した。 | 各保育所・幼稚園と小学校において、個に応じた指導を継続するため、必要に応じて連携を図っている。 運動会や発表会等、子ども同士の活動の交流、及びカリキュラムの研究 | 2005年度からの繰越事業 6所 公立保育所 3所 ・大規模改修 2所 (引野、高西) ・増改築 1所 (西山手) 私立保育所 3所 ・増改築 1所 (千田西) ・改築 2所 (千田、駅家東) |
| 2007 年度 計画 | | 【継続 廃止】 | 【継続 廃止】 | 【継続 廃止 新規】 |
| | | 公立 59所 私立 14所 計 73所 | 継続して実施 | 2006年度からの繰越事業 私立保育所 3所 (瀬戸、まつい・大津野統合、ちとせ・松尾統合) 2007年度事業 公立保育所 2所 (有磨(仮称)、蔵王)2008年度完成予定 私立保育所 1所 (大門) |
| | (予算額:千円) | 23,220 | 0 | 689,436 |
| | 備考 (特記事項) | 予算額は私立分のみ | | 予算額は2006年度からの繰越額および2007年度予算 |

福山市次世代育成支援対策推進行動計画における
具体的な施策(個別事業)の実施状況等報告書

【継続事業用】

| | | | | |
|-------------------|--|--|--|----------------------------|
| コード | 基本方針 - 基本 施策 - 個別事業 | 2 - 1 - 5 (2 - 4 - 6) | 2 - 1 - 6 | 2 - 1 - 7 (2 - 4 - 5) |
| 担当部課 | (教) 学校教育部指導課 | 児童部子育て支援課 | 児童部子育て支援課 | 児童部子育て支援課 |
| 具体的な施策 (個別事業名) | 幼稚園での預かり保育 | 短期入所生活援助事業 (ショートステイ・トワイライト) | ファミリー・サポート・センター事業 | |
| 事業概要 | 私立幼稚園において日常の保育終了後や長期休暇の期間において預かり保育を行う。 | 保護者の疾病や疲労、仕事などにより、家庭において児童を養育することが一時的に困難となった場合に、児童養護施設や乳児院においてショートステイを、保護者の仕事などにより平日の夜間などに不在となり、家庭において児童を養育することが困難となった場合にトワイライトを実施するもの | 保育所などへの児童の送迎及び預かりなど、子育てを応援してほしい人と子育てを応援したい人が会員となって子育てを地域で支えるもの | |
| 数値目標等 | - | - | - | ファミリー・サポート・センター協力会員数 |
| 現状値 | - | - | - | 114人(2004年度) |
| 目標値 | - | - | - | 190人(2009年度) |

| | | | | |
|--------------|---------------|--|---|---|
| 06年度実施状況等 | 実績値 | | | 161人 |
| | 区分 | 【 継続 新規 】 | 【 継続 新規 】 | 【 継続 新規 】 |
| 実施内容及び課題等 | 私立幼稚園 全23園で実施 | 実施箇所 ・ショートステイ 2ヶ所 福山乳児院(0, 1歳) こぶしヶ丘 (2歳以上) ・トワイライト 2ヶ所 福山乳児院(0, 1歳) こぶしヶ丘 (2歳以上) 利用状況 ・ショートステイ 2人6日 乳児院 1人3日 こぶし 1人3日 ・トワイライト 利用なし | ○援助の希望にできるだけ応じ、相互援助活動がスムーズにいくよう努めてきた。 ○活動延べ件数(2,430)は、前年度比40%増、主に学童の迎え、帰宅後の預かりの増加に因る。 【課題】 依頼会員の増加にくらべて、協力・両方会員の増加は少ない。 2007年3月末会員数 依頼会員 484人(441人) 協力会員 161人(153人) 両方会員 75人(66人) ()内は2006年3月末 | |
| 2007年度計画 | 【 継続 廃止 】 | 【 継続 廃止 】 | 【 継続 廃止 】 | |
| | 私立幼稚園で実施 | 2006年度と同様に実施 | | ○地域バランスを勘案した協力会員の確保 ○時代に即した協力会員の研修を実施し、参加を呼びかける ○研修場所・日時の検討 |
| (予算額:千円) | 0 | 183 | | 7,318 |
| 備考 (特記事項) | | | | 目標数値達成による変更 |

福山市次世代育成支援対策推進行動計画における
具体的な施策(個別事業)の実施状況等報告書

【継続事業用】

| | | | | |
|-------------------|------------------------|-----------------------------------|--|---------------------------------|
| コード | 基本方針 - 基本 施策 - 個別事業 | 2 - 1 - 8 | 2 - 2 - 1 (2 - 3 - 2) | 2 - 2 - 2 (2 - 3 - 3) |
| 担当部課 | | 児童部保育課 | 児童部子育て支援課 | 児童部保育課 |
| 具体的な施策 (個別事業名) | | 家庭保育福祉員 | ふくやま子育て応援センター | 地域子育て支援センター事業 |
| 事業概要 | | 一定の資格を持つ人で、自宅の一室を開放し、乳幼児の保育を行なうもの | 育児相談、保護者によるサークル活動の支援、子育て支援事業に関する情報提供等地域の子育てを総合的に支援するもの | 保育所を拠点として子育て一般家庭への子育て支援事業を行なうもの |
| 数値目標等 | | - | - | - |
| | 現状値 | - | - | - |
| | 目標値 | - | - | - |

| | | | | |
|--------------|-----------|---|---|--|
| | 実績値 | | | |
| | 区分 | 【 継続 新規 】 | 【 継続 新規 】 | 【 継続 新規 】 |
| 06年度実施状況等 | 実施内容及び課題等 | 福祉員数 3名 受託児童数 平均9名 | ○去年比、相談件数(2,036件)はほぼ同数、しかし、情報提供数(1,848件)は約18%増となっている。 〔()内は、2007年3月末件数〕 あんしん子育て応援ガイド配付・ホームページの充実が要因と考えられる。 〔課題〕 ○参加者の少ないサークルについては、ニーズにあった内容を工夫する必要がある。 | 子育て応援センター、地域の拠点保育所を中心として、それぞれの地域保育所が連携し、家庭で子どもを保育している保護者や子どもを対象に遊びの場・相談の場として実施 公立拠点保育所においては、電話相談・来訪相談を試行的に実施 実施箇所 15箇所 従来型 ・公立保育所 6所 ・ふくやま子育て応援センター ・私立保育所 2所 小規模型 ・私立保育所 6所 |
| 2007年度計画 | | 【 継続 廃止 】 福祉員数 2名 受託児童数 平均6名 | ○サークルの見直しと充実 ○子育て支援事業に関するタイムリーな情報提供と利用促進 ○他の各種子育て支援事業との連携 | 継続して実施 公立拠点保育所における、電話相談・来訪相談を本格実施 実施箇所 17箇所 従来型 ・公立保育所 6所 ・ふくやま子育て応援センター ・私立保育所 2所 小規模型 ・私立保育所 8所 |
| (予算額:千円) | | 1,082 | - | 105,138 |
| 備考 (特記事項) | | | | |

福山市次世代育成支援対策推進行動計画における
具体的な施策(個別事業)の実施状況等報告書

【継続事業用】

| | | | | |
|-------------------|---|--|---|---------------------|
| コード | 基本方針 - 基本 施策 - 個別事業 | 2 - 2 - 3 (3 - 2 - 1) | 2 - 2 - 5 | 2 - 2 - 9 |
| 担当部課 | 児童部子育て支援課 | 児童部子育て支援課 | 人権推進部青少年課 | 社会教育部中部ブロック社会教育センター |
| 具体的な施策 (個別事業名) | 家庭児童相談室 | ぐりとぐら広場 (福山市自然研修センターふく やまふれ愛ランド) | 家庭教育支援総合推進事業 | |
| 事業概要 | 家庭における適正な児童養育, その他家庭児童福祉の向上を図 るため家庭児童相談室を設置し, 相談員が家庭における児童養育 に関する相談に応じ,必要な助 言指導を行うもの | 親子でのふれあい遊び, 育児 相談など子育て支援事業を行う もの | 家庭教育支援の充実を図るた め,保護者が参加するさまざま 機会を活用した家庭教育に関す る学習機会の提供を推進する。 | |
| 数値目標等 | 子育てに関する不安や負担感 | - | - | - |
| 現状値 | 就学前児童60.8%, 小学生児童56.1%(2003年度) | - | - | - |
| 目標値 | 減少(2009年度) | - | - | - |

| | | | | |
|---------------------------|---|--|---|-------------|
| 06 年度 実施 状況 等 | 実績値 | 未調査 | | |
| | 区分 | 【 継続 新規 】 | 【 継続 新規 】 | 【 継続 新規 】 |
| 実施内容 及び課題等 | <ul style="list-style-type: none"> 相談員4名配置(ひとり親家庭 自立支援員と兼務) 相談件数 126件 | <ul style="list-style-type: none"> 遊具を使った自由遊びやリズム 遊び・子育て相談等を実施する中 で,様々な利用者ニーズに応じた 子育て支援事業を実施した。 実施回数 146回 参加者数 3,216人 | <ul style="list-style-type: none"> 就学前子育て講座 142回実施 幼稚園,保育所の参観日など保護者 が参加しやすい機安を利用して子ども の関わり方や生活習慣,食育について など,家庭における教育のあり方を見つ めなおしてもらった講座を実施した。 思春期子育て講座 24回実施 思春期の子どもたちの抱える悩みや 将来への不安について,保護者がどの ように受け止め,どのように向き合っ ていくか考える機会を提供した。 父親の家庭教育参加を考える集い 5回実施 父親の家庭教育参加を促進するよう, 父親と子どものふれあいを深める講座 を開催した。 【課題】 実施施設数の拡大とニーズに応じた 講師の派遣を充実していくことが求めら れている。 | |
| 2007年度計画 | 【 継続 廃止 】 | 【 継続 廃止 】 | 【 継続 廃止 】 | |
| (予算額:千円) | 継続実施 | 継続して実施 | <ul style="list-style-type: none"> 就学前 120回予定 思春期 15回予定 父親 4回予定 | |
| 備考 (特記事項) | 母子相談事業(4-2-3)と合算 | | 1,811 | (文部科学省委託事業) |

福山市次世代育成支援対策推進行動計画における
具体的な施策(個別事業)の実施状況等報告書

【継続事業用】

| | | | |
|-------------------|---|---|-----------|
| コード | 基本方針 - 基本 施策 - 個別事業 | 2 - 2 - 8 | 2 - 3 - 1 |
| 担当部課 | (教) 学校教育部指導課 | 児童部子育て支援課 | |
| 具体的な施策 (個別事業名) | 幼稚園での子育て支援事業 | 子育て支援サービスの ネットワークづくり | |
| 事業概要 | 育児相談による子育て不安の 解消を図るとともに、保育所等 関係機関との連携による子育て 支援事業に関する情報提供を行 う。 | 子育て支援サービスのネットワ ークを構築し、様々な子育て支援 事業についてタイムリーな情報提供 を行うとともに、次世代育成支援対策 推進行動計画の実施状況の把握、 課題の抽出、今後のあり方等の検 討及びその他子育て支援関係事業 の調査研究を行うもの | |
| 数値目標等 | - | - | |
| 現状値 | - | - | |
| 目標値 | - | - | |

| | | | |
|---------------------------|---|--|-----------|
| 06 年度 実施 状況 等 | 実績値 | | |
| | 区分 | 【 継続 新規 】 | 【 継続 新規 】 |
| 実施内容 及び課題等 | <p>育児相談による子育て不安の解 消 すべての公立幼稚園(24園)に おいて、未就園児の会を計画し、幼 児同士のふれあいや子育て相談を 実施 ○すべての私立幼稚園(23園)に おいて、未就園児に対する園庭開 放や、在園児童とのふれあいの機 会を提供し、工作・折り紙などのも のづくりを実施</p> | <p>2005年度に設置したネットワー ク委員会(福山市行政及び社会福祉 協議会で構成)を4月と3月に開催し 次世代育成支援対策推進行動計 画の実施状況の把握、課題の抽 出、今後のあり方等を検討した。 あんしん子育て応援ガイドを 60,000部作成し配布。 インターネットホームページによ る子育て支援の情報提供「子育てe - 支援情報!」の充実及びキー ワードによる検索方法の効率化を 図った。</p> | |
| 2007年度計画 | 【 継続 廃止 】 継続して実施 | 【 継続 廃止 】 あんしん子育て応援ガイドの発 行 インターネットホームページの子 育て支援情報(子育てe - 支援情 報!)の充実 次世代育成支援対策推進行動 計画の実施状況の把握、課題の抽 出、今後のあり方等の検討 定期的なネットワーク会議の開 催 | |
| (予算額:千円) | 0 | 600 | |
| 備考 (特記事項) | | 上記事業費は予算上、育児支援 家庭訪問事業で計上 | |

福山市次世代育成支援対策推進行動計画における
具体的な施策(個別事業)の実施状況等報告書

【継続事業用】

| | | | |
|-------------------|------------------------|--|--|
| コード | 基本方針 - 基本 施策 - 個別事業 | 2 - 4 - 1 | 2 - 4 - 2 |
| 担当部課 | | 経済部労政課 | 人権推進部男女共同参画センター |
| 具体的な施策 (個別事業名) | | 女性雇用対策事業等 | 学習・啓発事業 |
| 事業概要 | | 国、県、関係団体と連携し、労働者及び事業主に対し、仕事と家庭の両立についての広報、啓発、研修、情報提供等を行う。 | 「男女共同参画推進条例」及び「男女共同参画基本計画」の推進により、家庭生活とその他の活動が両立できるまちづくりに取り組むもの。 子育てと仕事の両立支援に関しては、男女共同参画センターで実施する講座において啓発する。 |
| 数値目標等 | | - | - |
| 現状値 | | - | - |
| 目標値 | | - | - |

| | | | |
|--------------|---|--|--|
| 06年度実施状況等 | 実績値 | | |
| | 区分 | 【 継続 新規 】 | 【 継続 新規 】 |
| 実施内容及び課題等 | <p>広島労働局、広島県、21世紀職業財団との共催による仕事と家庭の両立に関するセミナーの開催。 ・働く女性の活躍推進セミナー 参加者数93人 ・少子化対策セミナー 参加者数72人</p> <p>福山地方雇用対策協議会、福山人権啓発企業連絡会と連携し、事業者への啓発・情報提供。 ・働く女性の活躍・少子化対策セミナー及び改正男女雇用均等法説明会の啓発・情報提供を約700社に実施。</p> <p>福山市勤労女性センターにおける仕事と家庭の両立に関する講座の開催。 ・料理教室や介護講習会等を延べ23回実施(参加者数 延べ548人)</p> <p>若年求職者を対象とした就職支援セミナーの開催及び「ひろしま若者しごと館福山サテライト」の県との共同実施。(相談件数625件) ・若年求職者支援セミナー 2回(参加者数 延べ35人) ・ひろしま若者しごと館福山サテライト 来所者数1,437人 相談件数 625件</p> | <p>再就職応援セミナー 「再就職へのプランづくり」 (5月 2回)</p> <p>「自分のライフスタイルを見つけよう」 (3月 3回)</p> <p>子育て支援セミナー 「託児ボランティア養成講座」 (8月～10月 7回)</p> <p>「子育てに生かせるカウンセリング学」 (1月～2月 3回)</p> <p>家族のコミュニケーションセミナー (11月～12月 3回)</p> | |
| 2007年度計画 | | 【 継続 廃止 】 | 【 継続 廃止 】 |
| (予算額:千円) | | 継続して実施 | <p>・再就職応援セミナー 「いきいきと働くために必要な情報発見」</p> <p>・子育て支援セミナー 「8歳で脳は決まる！子どもを救う親の力」 「子どもとのかかわり方」</p> <p>・家族のコミュニケーションセミナー</p> |
| 備考 (特記事項) | | | |

福山市次世代育成支援対策推進行動計画における
具体的な施策(個別事業)の実施状況等報告書

【継続事業用】

| | | | |
|-------------------|--|--|-----------|
| コード | 基本方針 - 基本 施策 - 個別事業 | 2 - 4 - 4 (2 - 1 - 4 ・ 3 - 5 - 1 ・ 4 - 3 - 2) | 2 - 5 - 1 |
| 担当部課 | 社会教育部社会教育振興課 | | 保健所健康推進課 |
| 具体的な施策 (個別事業名) | 放課後児童クラブ事業 | | 不妊治療扶助 |
| 事業概要 | 保護者の就労支援と児童の健全育成のため、授業終了後に施設を利用して、適切な遊びや生活の場を提供する。 | 不妊治療に係る費用の一部を助成するもの | |
| 数値目標等 | 放課後児童クラブ開設か所数 | | - |
| | 現状値 | 75か所(2004年度) | - |
| | 目標値 | 86か所(2009年度) | - |

| | | | | |
|---------------------------|---------------|--|---|---------------------|
| 06 年度 実施 状況 等 | 実績値 | 74か所 | | |
| | 区分 | 【 継続 新規 】 | | 【 継続 新規 】 |
| | 実施内容 及び課題等 | 開設 74か所 公設公営 71か所 民設民営 3か所 開設時間 学期中 月～金 放課後～17:30 土 8:30～13:45 長期休業中 月～金 8:30～17:00 土 8:30～13:30 山南放課後児童クラブを新設 旧神辺町において、小学校内で実施していた分を引き継ぎ、 長期休業中の時間延長を行った。 | 指定医療機関で、体外受精または顕微授精に要した費用に対して1年あたり10万円を限度として通算5年助成している。 (2006年度から助成期間を5年に延長) 不妊治療決定者 130人 | |
| 2007年度計画 | | 【 継続 廃止 】 | | 【 継続 廃止 】 |
| | | 開設 75か所 公設公営 72か所 民設民営 3か所 開設時間の延長 学期中 月～金 放課後～18:00(17:30) 土 8:30～13:45 長期休業中 月～金 8:30～18:00(17:00) 土 8:30～13:45(13:30) 環境整備 プレハブ増築1か所 空調整備50か所 東村放課後児童クラブ新規開設(公設公営:小学校内余裕教室) | 不妊治療:180件 2007年度から、1回あたり10万円を限度に、同一年度2回助成する。(助成期間は5年間) | |
| (予算額:千円) | | 508,741 | | 18,000 |
| 備考 (特記事項) | | 目標値変更あり 2007年度からの3年間で大規模クラブの解消を図る。 | | |

福山市次世代育成支援対策推進行動計画における
具体的な施策(個別事業)の実施状況等報告書

【継続事業用】

| コード | 基本方針 - 基本 施策 - 個別事業 | 2 - 5 - 2 | 2 - 5 - 3 | 2 - 5 - 4 |
|-------------------|------------------------|---|-----------------------------|--|
| 担当部課 | | 児童部子育て支援課 | 保健所保健予防課 | 保健所保健予防課 |
| 具体的な施策 (個別事業名) | | 乳幼児等医療費 | 小児慢性特定疾患医療費 | 未熟児養育医療費 |
| 事業概要 | | 乳幼児等が病院へ通院又は入院した際の保険医療費に係る自己負担分の一部を助成するもの | 小児慢性特定疾患の保険医療費の自己負担分を助成するもの | 出生体重が2,000g以下または未熟なまま生まれた乳児の状態を改善するための保険医療費の自己負担分を助成するもの |
| 数値目標等 | | - | - | - |
| 現状値 | | - | - | - |
| 目標値 | | - | - | - |

| 実績値 | 【 継続 新規 】 | | 【 継続 新規 】 | | 【 継続 新規 】 | |
|--------------|--|----|---|----|--|----|
| | 継続 | 新規 | 継続 | 新規 | 継続 | 新規 |
| 06年度実施状況等 | <p>所得制限の緩和 2006年4月1日より児童手当の所得制限限度額引き上げに伴い、乳幼児等医療所得制限限度額も引き上げ。</p> <p>助成内容 (入院)0歳児から小学校6年生まで (通院)0歳児から就学前まで</p> <p>一部負担金 1医療機関につき1日500円の一部負担金有り(入院は月14日まで、通院は月4日まで)</p> <p>受給者数 28,177人</p> | | <p>対象疾患 悪性新生物、慢性腎疾患、慢性呼吸器疾患、慢性心疾患、内分泌疾患、膠原病、糖尿病、先天性代謝異常、血友病等血液・免疫疾患、神経・筋疾患、慢性消化器疾患</p> <p>対象者 18歳未満の児童(ただし、満18歳の時点で継続治療の必要な人は20歳未満まで)</p> <p>助成 小児慢性特定疾患の保険医療費の自己負担分の一部を助成するもの。なお、医療機関に支払う患者の月額負担限度額は、生計中心者の所得税額等により決定される。</p> <p>助成件数 4,738件</p> | | <p>出生体重が2,000g以下または未熟なまま生まれた乳児の状態を改善するための保険医療費に係る自己負担分の一部を所得に応じて助成するもの。</p> <p>助成件数 366件</p> | |
| 2007年度計画 | 【 継続 廃止 】 継続して実施 | | 【 継続 廃止 】 4,300件 | | 【 継続 廃止 】 300件 | |
| (予算額:千円) | 751,950 | | 116,100 | | 25,800 | |
| 備考 (特記事項) | | | | | | |

福山市次世代育成支援対策推進行動計画における
具体的な施策(個別事業)の実施状況等報告書

【継続事業用】

| コード | 基本方針 - 基本 施策 - 個別事業 | 2 - 5 - 5 | 2 - 5 - 6 | 2 - 5 - 7 |
|-------------------|------------------------|---|--|---|
| 担当部課 | | 保健所保健予防課 | 児童部子育て支援課 | 福祉部障害福祉課 |
| 具体的な施策 (個別事業名) | | 自立支援医療(育成医療)費 | ひとり親家庭等医療費 | 重度心身障害者医療費 |
| 事業概要 | | 身体上の障害を有する児童等 に対し、障害を軽減,改善する ために要する保険医療費の自己 負担分を助成するもの | ひとり親家庭等の親又は児童 が病院へ通院又は入院した際 の保険医療費に係る自己負担 分の一部を助成するもの | 重度の障害のある障害児 (者)が病院へ通院又は入院 した際の保険医療費に係る自 己負担分から一部負担金(1日 100円,入院・通院とも月4日 まで)を差し引いた額を助成 するもの |
| 数値目標等 | | - | - | - |
| 現状値 | | - | - | - |
| 目標値 | | - | - | - |

| | | | | |
|--------------|--|---|--|---------|
| 06年度実施状況等 | 実績値 | | | |
| | 区分 | 【継続 新規】 | 【継続 新規】 | 【継続 新規】 |
| 実施内容及び課題等 | <p>身体上の障害を有する児童等 に対し、障害を軽減,改善する ために要する保険医療費の自 己負担分の一部を助成するも の。</p> <p>なお、医療機関に支払う患者 の自己負担は原則として医療 費の1割であるが、所得の状 況等に応じて月額負担限度額 が定められている。</p> <p>助成件数 668件</p> | <p>対象年齢 18歳到達後初めての3月末 までの児童を現に扶養してい る配偶者のない人とその児 童</p> <p>所得制限 本人及び生計を同一にする 扶養義務者が所得税非課税 であること</p> <p>一部負担金 1医療機関につき1日250 円の一部負担金有り(入院・ 通院とも月4日まで)</p> <p>受給者数 7,593人</p> | <p>医療費助成の実施 受給者数 10,197人 65歳未満 4,469人 65歳以上 5,728人</p> | |
| 2007年度計画 | 【継続 廃止】 | 【継続 廃止】 | 【継続 廃止】 | |
| | 320件 | 継続して実施 | <p>医療費助成の実施 受給者数 10,140人 65歳未満 4,460人 65歳以上 5,680人</p> | |
| (予算額:千円) | 12,800 | 214,812 | 1,215,732 | |
| 備考 (特記事項) | | | | |

福山市次世代育成支援対策推進行動計画における
具体的な施策(個別事業)の実施状況等報告書

【継続事業用】

| コード | 基本方針 - 基本 施策 - 個別事業 | 2 - 5 - 8 | 2 - 5 - 9 | 2 - 5 - 10 |
|-------------------|------------------------|------------------------------|------------------------------------|--|
| 担当部課 | | 保健所健康推進課 | 児童部子育て支援課 | 児童部子育て支援課 |
| 具体的な施策 (個別事業名) | | 幼児インフルエンザ予防接種費 | 児童手当 | 児童扶養手当 |
| 事業概要 | | 幼児インフルエンザ予防接種に係る費用の一部を助成するもの | 小学校修了前までの児童を養育している保護者に対し、手当を支給するもの | 父母の離婚、父の死亡などにより、父のいない児童を養育している母又は養育者に対し手当を支給するもの |
| 数値目標等 | | - | - | - |
| 現状値 | | - | - | - |
| 目標値 | | - | - | - |

| | | | | |
|---------------------------|--|--|---|-----------|
| 06 年度 実施 状況 等 | 実績値 | | | |
| | 区分 | 【 継続 新規 】 | 【 継続 新規 】 | 【 継続 新規 】 |
| 実施内容 及び課題等 | インフルエンザ予防接種実施医療機関で接種が終了した幼児(1歳から就学前までの幼児)の保護者に、予防接種に要した費用に対して同一年度、一人あたり3,000円を限度として補助する。 補助件数 11,896件 | 受給者数 31,094人 児童数 51,097人 支給額(月額) 第1子 5,000円 第2子 5,000円 第3子以降 10,000円 制度改正(2006年4月1日) ・支給対象年齢の拡大(小学校3年生修了前 小学校修了前まで) ・所得制限の緩和 | 受給者数 4,019人 支給額 全部支給 月41,720円 一部支給 月41,710円～9,850円 | |
| 2007年度計画 | 【 継続 廃止 】 被接種者:15,600件 | 【 継続 廃止 】 2007年4月から3歳未満児の手当を一律月額10,000円に拡充。 3才以上児は従前どおり。 | 【 継続 廃止 】 継続して実施 | |
| (予算額:千円) | 46,800 | 3,761,900 | 1,991,852 | |
| 備考 (特記事項) | | | | |

福山市次世代育成支援対策推進行動計画における
具体的な施策(個別事業)の実施状況等報告書

【継続事業用】

| | | | | |
|-------------------|------------------------|--|--|---|
| コード | 基本方針 - 基本 施策 - 個別事業 | 2 - 5 - 1 1 | 2 - 5 - 1 2 | 2 - 5 - 1 3 |
| 担当部課 | | 福祉部障害福祉課 | 福祉部障害福祉課 | 児童部子育て支援課 |
| 具体的な施策 (個別事業名) | | 特別児童扶養手当 | 障害児福祉手当 | 遺児年金 |
| 事業概要 | | 20歳未満の心身障害児を監 護する父母などに手当を支給す るもの | 20歳未満の身体障害者手 帳,療育手帳等を所持する重度 の障害児に対し手当を支給する もの | 福山市に引き続き2年以上居住 する児童で,父母のいない児 童,父又は母のいない児童その 他これに準じる状態にある児童 に対し,年金を支給する。 |
| 数値目標等 | | - | - | - |
| 現状値 | | - | - | - |
| 目標値 | | - | - | - |

| | | | | |
|---------------------------|---|--|--|---------|
| 06 年度 実施 状況 等 | 実績値 | | | |
| | 区分 | 【継続 新規】 | 【継続 新規】 | 【継続 新規】 |
| 実施内容 及び課題等 | 支給申請の受付 受給者数 655人 支給単位(広島県支給) 1級 月 50,750円 2級 月 33,800円 支給に関しては,広島県が実 施 | 手当の支給 受給者数(2007年3月31日現在) 260人 支給単位 月14,430円 | 受給者数 4,256人 (2006年12月期支払) 父母のいない児童 30人 父又は母のいない児童 4,226人 支給額 父母のいない児童 年 41,000円 父又は母のいない児童 年 22,000円 | |
| 2007年度計画 | 【継続 廃止】 支給申請の受付 | 【継続 廃止】 手当の支給 対象者数 261人 支給額 月14,480円 | 【継続 廃止】 継続して実施 | |
| (予算額:千円) | 0 | 44,866 | 144,640 | |
| 備考 (特記事項) | | | 単市制度 | |

福山市次世代育成支援対策推進行動計画における
具体的な施策(個別事業)の実施状況等報告書

【継続事業用】

| | | | | |
|-------------------|------------------------|---|--|---|
| コード | 基本方針 - 基本 施策 - 個別事業 | 2 - 5 - 1 4 | 2 - 5 - 1 5 | 2 - 5 - 1 6 |
| 担当部課 | | 福祉部障害福祉課 | 児童部庶務課 | (教) 学校教育部学事課 |
| 具体的な施策 (個別事業名) | | 重症心身障害者福祉年金 | 保育所保育料の3人目以降の無料化 | 就園奨励費(幼稚園) |
| 事業概要 | | 身体障害者手帳,療育手帳,精神障害者保健福祉手帳を所持する者に対し年金を支給するもの(支給対象) 福山市に2年以上居住し,次のいずれかに該当する人 身体障害者手帳1~3級 療育手帳(A)~(B) 精神障害者保健福祉手帳1,2級 障害基礎年金1,2級の受給者等 | 同時に3人以上保育所へ入所している家庭の3人目以降の児童の保育料を無料化するもの | 私立幼稚園に通園する児童の保護者の経済的負担を軽減するため,入園料・保育料の一部を補助 |
| 数値目標等 | | - | - | - |
| | 現状値 | - | - | - |
| | 目標値 | - | - | - |

| | | | | |
|-----------|-----------|--|--|--------------------------|
| | 実績値 | | | |
| | 区分 | 【継続 新規】 | 【継続 新規】 | 【継続 新規】 |
| 06年度実施状況等 | 実施内容及び課題等 | 福祉年金の支給(障害児) 1人あたり年間 22,000円 年間実績 624人 | 対象児童数 延べ2,335人 同一世帯から3人以上同時に保育所に入所している場合, D1階層からD5階層に属する世帯は,年齢の高い順から全額,半額,無料, D6階層からD12階層に属する世帯は,年齢の低い順から全額,半額,無料 | 認定者 3,091人 |
| | 2007年度計画 | 【継続 廃止】 福祉年金の支給 | 【継続 廃止 新規】 対象児童数 延べ2,796人 (うち制度改正に伴う対象児童 492人) 同一世帯から保育所の他に幼稚園を利用している児童も多子軽減の対象に含めることにより,保育料の軽減を図る。 | 【継続 廃止】 認定者見込み 2,984人 |
| | (予算額:千円) | 175,900 | - | 228,281 |
| | 備考(特記事項) | 単市制度 | | |

福山市次世代育成支援対策推進行動計画における
具体的な施策(個別事業)の実施状況等報告書

【継続事業用】

| | | | | |
|-------------------|------------------------|----------------------------|---|--|
| コード | 基本方針 - 基本 施策 - 個別事業 | 2 - 5 - 17 | 2 - 5 - 18 | 3 - 1 - 1 |
| 担当部課 | | (教) 学校教育部学事課 | 児童部子育て支援課 | (教) 学校教育部指導課 |
| 具体的な施策 (個別事業名) | | 就学援護費 | 母子寡婦福祉資金貸付金 | 確かな学力の向上 |
| 事業概要 | | 経済的理由で就学に必要な費用の支払が困難な人への援助 | 母子家庭の児童などが修学するために必要な学費などについて貸付を行うことにより、母子家庭等の福祉の向上を図るもの | 子ども一人ひとりに応じた指導の充実，基礎基本の習得，個性を伸ばし，選択能力を向上させる取組を進める。 |
| 数値目標等 | | - | - | 基礎基本定着状況調査の正答率を全実施教科で80%以上 |
| 現状値 | | - | - | 小学校:国75.4%,算78.4%,(2006年度) 中学校:国80.9%,数68.8%,英72.5%(2006年度) |
| 目標値 | | - | - | 80%(2010年度) |

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--------------|-----|----------------------------|--|--|----|------|------|--------|-----|--|----|--------|------|------|-----|--|--|----|-------|----|----|------|------|--------|-----|--|--|----|------|--|--|---|-------|
| 06年度実施状況等 | 実績値 | | | 小学校:国75.4%,算78.4% 中学校:国80.9%,数68.8%,英72.5% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 区分 | 【 継続 新規 】 | 【 継続 新規 】 | 【 継続 新規 】 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 実施内容及び課題等 | 認定者 | 4,958人 | (貸付状況) | 授業計画の充実 一人ひとりに応じたきめ細かな指導，評価規準や評価方法の工夫・改善 校内研修，公開研究会の積極的な実施 福山市研修センター教職員研修講座の改善・充実 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | <table border="1"> <tr> <td rowspan="2">母子</td> <td rowspan="2">新規</td> <td>修学資金</td> <td>55 件</td> </tr> <tr> <td>技能習得資金</td> <td>1 件</td> </tr> <tr> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2">継続</td> <td>就学支度資金</td> <td>46 件</td> </tr> <tr> <td>修業資金</td> <td>1 件</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>小計</td> <td>103 件</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">寡婦</td> <td rowspan="2">新規</td> <td>修学資金</td> <td>73 件</td> </tr> <tr> <td>技能習得資金</td> <td>1 件</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>小計</td> <td>74 件</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>計</td> <td>180 件</td> </tr> </table> | 母子 | 新規 | 修学資金 | 55 件 | 技能習得資金 | 1 件 | | 継続 | 就学支度資金 | 46 件 | 修業資金 | 1 件 | | | 小計 | 103 件 | 寡婦 | 新規 | 修学資金 | 73 件 | 技能習得資金 | 1 件 | | | 小計 | 74 件 | | | 計 | 180 件 |
| 母子 | 新規 | 修学資金 | 55 件 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 技能習得資金 | 1 件 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 継続 | 就学支度資金 | 46 件 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 修業資金 | 1 件 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 小計 | 103 件 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 寡婦 | 新規 | 修学資金 | 73 件 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 技能習得資金 | 1 件 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 小計 | 74 件 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 計 | 180 件 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2007年度計画 | | 【 継続 廃止 】 認定者見込み 5,345人 | 【 継続 廃止 】 継続して実施 | 【 継続 廃止 】 継続して実施 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| (予算額:千円) | | 305,346 | 134,010 内，貸付金133,060千円 | 0 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 備考 (特記事項) | | | | 新たに目標値を設定 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

福山市次世代育成支援対策推進行動計画における
具体的な施策(個別事業)の実施状況等報告書

【継続事業用】

| | | | | |
|-------------------|--|--|---|--------------|
| コード | 基本方針 - 基本 施策 - 個別事業 | 3 - 1 - 1 | 3 - 1 - 1 | 3 - 1 - 2 |
| 担当部課 | (教) 学校教育部指導課 | (教) 学校教育部指導課 | (教) 学校教育部指導課 | (教) 学校教育部指導課 |
| 具体的な施策 (個別事業名) | 確かな学力の向上 (少人数指導推進支援事業) | 確かな学力向上 (学校評価推進事業) | 英語教育の推進 | |
| 事業概要 | 小学校35校, 中学校15校に非常勤講師(少人数指導推進員)を配置し, 国語, 算数, 数学, 英語を基本に, 基礎的な学力の定着を図るための少人数指導等の工夫改善に取り組む。 | 外部評価を活用して学校の自己評価の精度を高め, 保護者, 地域への説明責任を果たすとともに, 本市学校教育の質的向上を図る。 | 聞く, 話すことに重点を置いた実践的コミュニケーション能力の育成を図るとともに, 国際理解教育を推進する。 | |
| 数値目標等 | - | - | - | - |
| 現状値 | - | - | - | - |
| 目標値 | - | - | - | - |

| | | | | |
|--------------|---|---|---|-----------|
| 06年度実施状況等 | 実績値 | | | |
| | 区分 | 【 継続 新規 】 | 【 継続 新規 】 | 【 継続 新規 】 |
| 実施内容及び課題等 | <p>小学校35校, 中学校15校を推進校に指定, 非常勤講師(少人数指導推進員)を配置した。</p> <p>推進校における取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習内容や学習場面に応じた効果的な指導方法の工夫 ・児童生徒の実態に応じた習熟度別指導の充実 ・補充発展的な学習内容の充実 ・形成的評価による指導の改善, 充実(指導と評価の一体化) | <p>学校評価自己評価の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校評価委員会による組織的な取組み ・「目標の連鎖」「選択と集中」による実効ある取組み 外部評価の導入による客観的かつ総合的な評価の確立 ・外部評価グループの編成 ・外部評価連絡協議会の実施 | <p>英語指導助手(ALT)の増員(8名 11名, 非常勤講師4名)</p> <p>英語教育の指導力向上のための研修を実施</p> | |
| 2007年度計画 | 【 継続 廃止 】 | 【 継続 廃止 】 | 【 継続 廃止 】 | |
| (予算額:千円) | 継続して実施 | 継続して実施 | 計画的に英語指導助手(ALT)の増員を図る。 ALT 14名 非常勤 4名 | |
| 備考 (特記事項) | | | 神辺町においては, 2008年度まで非常勤講師を4名配置する。 | |
| (予算額:千円) | 115,680 | 205 | 92,425 | |

福山市次世代育成支援対策推進行動計画における
具体的な施策(個別事業)の実施状況等報告書

【継続事業用】

| | | | | |
|-------------------|--|---|--|----------------------------|
| コード | 基本方針 - 基本 施策 - 個別事業 | 3 - 1 - 3 | 3 - 1 - 4 (3 - 4 - 1・3 - 5 - 3) | 3 - 1 - 4 (3 - 5 - 3) |
| 担当部課 | (教) 学校教育部指導課 | (教) 学校教育部指導課 | 経済部農業振興課 | |
| 具体的な施策 (個別事業名) | 読書教育の推進 | 豊かな心の育成 | 園芸センター農業体験 | |
| 事業概要 | 各校の蔵書を質的量的に整備し、読書教育の充実を図る。 | 豊かな体験活動をもとに、子どもの道徳性や自己指導能力を育成し、生涯にわたり、たくましく生きていくための健康・体力づくりを推進する。 | 園芸センターでの農業体験を通じて自然や農業に触れ合う場を提供し、児童生徒の豊かな情操を養い、健全な育成を図るもの | |
| 数値目標等 | 全学校が学校図書館 図書標準を達成する。 | - | - | |
| 現状値 | 小学校達成56校/78校(2006年度) 中学校達成19校/36校(2006年度) | - | - | |
| 目標値 | 全校100%(2007年度) | - | - | |

| 06年度実施状況等 | 実績値 | 小学校達成 56校/78校 中学校達成 19校/36校 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--------------|---------|--|---------|--|--|----------|--|----|---|----|---|--------|----|------|----|------|--------|----|------|---|------|--------|---|-----|---|------|--------|---|-----|---|-----|--------|---|-----|---|-----|--------|---|-----|---|-----|-----|----|------|----|------|--|--|
| | 区分 | 【継続 新規】 | 【継続 新規】 | 【継続 新規】 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 実施内容及び課題等 | | <p>図書の量の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校図書館図書標準を目標に学校図書館の蔵書を整備 ・蔵書数に応じた図書費の追加配分を実施 <p>図書の質の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各学校に読書年間指導計画等の作成を指導 ・計画的な読書教育の推進、蔵書内容の充実を図るように指導 <p>2006年度</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">蔵書率</th> <th colspan="2">小学校(78校)</th> <th colspan="2">中学校(36校)</th> </tr> <tr> <th>校数</th> <th>%</th> <th>校数</th> <th>%</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>100%以上</td> <td>56</td> <td>71.8</td> <td>19</td> <td>52.8</td> </tr> <tr> <td>90~99%</td> <td>15</td> <td>19.2</td> <td>8</td> <td>22.2</td> </tr> <tr> <td>80~89%</td> <td>6</td> <td>7.7</td> <td>7</td> <td>19.4</td> </tr> <tr> <td>70~79%</td> <td>1</td> <td>1.3</td> <td>2</td> <td>5.6</td> </tr> <tr> <td>60~69%</td> <td>0</td> <td>0.0</td> <td>0</td> <td>0.0</td> </tr> <tr> <td>50~59%</td> <td>0</td> <td>0.0</td> <td>0</td> <td>0.0</td> </tr> <tr> <td>未達成</td> <td>22</td> <td>28.2</td> <td>17</td> <td>47.2</td> </tr> </tbody> </table> | 蔵書率 | 小学校(78校) | | 中学校(36校) | | 校数 | % | 校数 | % | 100%以上 | 56 | 71.8 | 19 | 52.8 | 90~99% | 15 | 19.2 | 8 | 22.2 | 80~89% | 6 | 7.7 | 7 | 19.4 | 70~79% | 1 | 1.3 | 2 | 5.6 | 60~69% | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 50~59% | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 未達成 | 22 | 28.2 | 17 | 47.2 | <p>子どもの自律を育成する指導体制の充実</p> <p>「チャレンジウィークふくやま」の実施、ボランティア活動や乳幼児との交流体験などの社会体験活動、自然体験活動の充実</p> <p>食事の摂取割合の向上と楽しい給食の時間の推進</p> <p>子どもの心に響く道徳教育の実践、人権感覚を育む道徳教育の充実</p> <p>健康・体力づくりのための推進計画を作成し、実施</p> <p>体力テストの実施による子どもの体力の実態把握</p> | <p>金江小学校3年生27名を受入れ、花壇の草花苗の定植を行った。(6月15日マリーゴールド等800株、11月24日パンジー等800株)</p> |
| | 蔵書率 | 小学校(78校) | | 中学校(36校) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 校数 | | % | 校数 | % | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 100%以上 | 56 | 71.8 | 19 | 52.8 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 90~99% | 15 | 19.2 | 8 | 22.2 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 80~89% | 6 | 7.7 | 7 | 19.4 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 70~79% | 1 | 1.3 | 2 | 5.6 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 60~69% | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 50~59% | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 未達成 | 22 | 28.2 | 17 | 47.2 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2007年度計画 | 【継続 廃止】 | 継続して、学校図書館の蔵書の質的量的充実を図る。 | 【継続 廃止】 | 【継続 廃止】 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| (予算額:千円) | | 72,400 | 457 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 備考 (特記事項) | | 新たに目標値を設定 | | 小学校の農業体験については、福山市園芸センター農業体験実施要領に基づき実施した。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

福山市次世代育成支援対策推進行動計画における
具体的な施策(個別事業)の実施状況等報告書

【継続事業用】

| | | | | |
|-------------------|------------------------|--|---------------------------------------|--|
| コード | 基本方針 - 基本 施策 - 個別事業 | 3 - 1 - 5 | 3 - 1 - 7 | 3 - 1 - 8 |
| 担当部課 | | (教) 学校教育部指導課 | (教) 学校教育部指導課 | (教) 学校教育部指導課 |
| 具体的な施策 (個別事業名) | | 不登校児童生徒への取組 | 就学前施設の再整備 | キャリア教育推進事業 |
| 事業概要 | | 児童生徒一人ひとりが安心して生活できるよう、学校における教育相談体制の整備、いじめ・不登校対策の充実を図る。 | 今後の児童数の推移、地域の実態、保護者のニーズに応じた幼稚園の整備を行う。 | 児童生徒にしっかりとした勤労観・職業観を身に付けさせるための「チャレンジ・ウィークふくやま」(地域を進める5日間の職場体験学習)を実施し、キャリア教育の推進を図る。 |
| 数値目標等 | | 不登校児童生徒出現率 | - | - |
| | 現状値 | 1.58 (2006年度) | - | - |
| | 目標値 | 1.17% (2010年度) | - | - |

| | | | | |
|--------------|--|--|---|-----------|
| 06年度実施状況等 | 実績値 | 1.58% | | |
| | 区分 | 【 継続 新規 】 | 【 継続 新規 】 | 【 継続 新規 】 |
| 実施内容及び課題等 | 研修センターの相談活動の充実 適応指導教室「かがやき」の運営 スクールカウンセリングプロジェクト事業の推進 校内教育相談体制の充実 学習活動推進事業の推進 不登校対策実践指定校事業、不登校児童生徒支援モデル事業の実施 全児童生徒の定期的な個人面接の実施 | 就学前施設全体での幼稚園の役割、集団保育機能を基本とした効率的な幼稚園運営を推進 (施設整備) 遊戯室等空調設備整備 6園 引野・川口東幼稚園 廃園 神辺幼稚園 休園 西幼稚園 移転 | チャレンジウィーク 実施期間8月21日～8月25日 中学2年生3,800人 受け入れ先の確保と円滑な実施に向けての体制づくり 学校及び受け入れ事業所に配布する指導の手引の作成 推進委員会における各学校の取組みの交流 リーフレットや広報ふくやま等を通じての市民への啓発 支援会議における本年度の成果と課題の整理 報告会の開催 【課題】 公的施設での受け入れ拡大 課題意識や目標を明確にしての参加 | |
| 2007年度計画 | 【 継続 廃止 】 | 【 継続 廃止 】 | 【 継続 廃止 】 | |
| | 継続して実施 | 神辺幼稚園 廃園 大津野・西深津幼稚園 休園 施設整備 遊戯室冷暖房設備設置 5園 | 実施予定日 ・8月20日～24日(5日間) 実施形態 ・全市一斉実施 対象者 ・中学校2年生 | |
| (予算額:千円) | 50,681 | 52,300 | 457 | |
| 備考 (特記事項) | 目標値変更あり 具体的な施策に対し焦点化を図るため、目標値を全国の不登校児童生徒出現率に変更した。 1.17% = 不登校児童生徒数/全児童生徒数 | | | |

福山市次世代育成支援対策推進行動計画における
具体的な施策(個別事業)の実施状況等報告書

【継続事業用】

| | | | | |
|-------------------|--|--|----------------------------|-------------------------|
| コード | 基本方針 - 基本 施策 - 個別事業 | 3 - 2 - 2 (2 - 2 - 7・3 - 6 - 1) | 3 - 3 - 1 (3 - 5 - 2) | 3 - 3 - 3 |
| 担当部課 | 社会教育部中部ブロック社会教育センター | | 人権推進部青少年課 | 経済部農業振興課 |
| 具体的な施策 (個別事業名) | 子育て支援交流事業の充実 | | 自然研修センター事業 (ふくやまふれ愛ランド) | 職場体験学習・インターン シップの受入れ |
| 事業概要 | 公民館において、親子のふれあいの場や保護者同士の交流を図ることで、子育ての悩み相談をするなど、地域で互いに子育てをしていくきっかけづくりをする。 | 自然環境の中で宿泊研修、野外活動、体験農業、遊びの指導等を通じて、青少年の健全育成を図るもの | 中高校生の勤労体験学習の実施 | |
| 数値目標等 | 事業開催箇所数 | | - | - |
| 現状値 | 全地区公民館(73館)で実施(2005年度) | | - | - |
| 目標値 | 全地区公民館(79館)で実施(2006年度) | | - | - |

| | | | |
|--------------|--|--|---|
| 06年度実施状況等 | 実績値 | 全地区公民館(79館)で実施 | |
| | 区分 | 【 継続 新規 】 | 【 継続 新規 】 |
| 実施内容及び課題等 | <p>事業内容</p> <p>・福山市内の全公民館(79館)において、年間各館1回以上実施している。</p> <p>・核家族化がすすみ、子育ての悩みを抱える保護者に親子のふれあいの場を提供することで、親同士の交流と育児情報の交換、実技体験を通じての育児ストレスの解消をはかり、お互いのコミュニケーションを図ることが求められている。</p> <p>課題</p> <p>講座に参加できていない保護者に対する参加呼びかけ等の工夫が必要である。地域の子育てサポーターの充実を図りたい。</p> | <p>宿泊研修、野外活動、体験農業、遊びの指導等を通じた、多様な体験活動の機会の提供等による青少年の健全な育成の推進を図った。</p> <p>また、青少年の活動拠点として、積極的な受入れと活動を展開した。</p> | <p>2006年8月21日～25日「チャレンジフクヤマ」で松永、精華中学校の生徒計4名を受入れ、野菜、果樹、花卉等の栽培管理等の実習を行った。</p> <p>2007年1月29日～2月3日沼南高校1年生2名を受入れ、野菜、果樹、花卉等の栽培管理等の実習を行った。</p> |
| 2007年度計画 | 【 継続 廃止 】 | 【 継続 廃止 】 | 【 継続 廃止 】 |
| (予算額:千円) | 79公民館で実施予定 | <p>宿泊研修、野外活動、体験農業、遊びの指導等を通じた、多様な体験活動の機会の提供等による青少年の健全な育成の推進を図る。</p> <p>青少年の活動拠点として、積極的な受入れと活動を展開する。</p> <p>また、キャンプ場に食事棟を整備し雨天対応の課題解決を図るとともに、更なる利便の向上を図り、自然研修センター事業の充実に取り組む。</p> | 学校長の依頼により実施 |
| 備考 (特記事項) | 632 | 108,598 | |

福山市次世代育成支援対策推進行動計画における
具体的な施策(個別事業)の実施状況等報告書

【継続事業用】

| | | | | |
|-------------------|-------------------------|--|---|-----------|
| コード | 基本方針 - 基本 施策 - 個別事業 | 3 - 3 - 3 | 3 - 3 - 4 (3 - 5 - 7) | 3 - 3 - 5 |
| 担当部課 | 市民図書館 | 社会教育部中部ブロック社会教育センター | (教)管理部スポーツ振興課 | |
| 具体的な施策 (個別事業名) | 職場体験学習・インター シップの受け入れ | 子どもの居場所づくり事業 (地域子ども教室)の推進 | 生涯スポーツの振興 | |
| 事業概要 | 中高校生の勤労体験学習の実施 | コーディネーターを配置し、子 どもたちが安全・安心して過ご せる居場所として地域子ども教 室を設け、安全管理員を登録し、 放課後等における体験活動や地 域住民との交流を図る。 | 各種大会の開催，地域への指 導者の派遣，指導者の養成，気 軽にできるスポーツの普及，学 校施設を開放しての地域交流の 推進を図るもの。 | |
| 数値目標等 | - | 地域子ども教室実施箇所数 | - | |
| 現状値 | - | 22箇所(2004年度) | - | |
| 目標値 | - | 全区で実施(2009年度) | - | |

| | | | | |
|---------------------------|---|---|---|---------|
| 06 年度 実施 状況 等 | 実績値 | | 36箇所 | |
| | 区分 | 【継続 新規】 | 【継続 新規】 | 【継続 新規】 |
| 実施内容 及び課題等 | 市内全図書館で26校の職場体 験学習・インターシップを受け入 れた。 | 子どもたちが安全・安心して過ご せる居場所として地域子ども教室を 設け、放課後等における体験活動 や地域住民との交流を図った。 コーディネーターによる地域子 ども教室の活動情報を収集した。 | ○スポーツ教室等の開催 ・Happyスポーツ塾 ・地域スポーツ教室 ・スポーツデリバリーサービス ・ふくやまスポーツクラブ ・競技力向上事業 ・競技人口拡大事業 ○各種大会行事の開催 ・陸上競技場で遊ぼうDAY ・ローズアリーナフェア ・わくわくヨット教室 ・ふくやまマラソン ・“宝くじスポーツフェア”ドリー ム・ベースボール | |
| 2007年度計画 | 【継続 廃止】 「チャンレンジ・ウィークふくやま」 にあわせて全図書館で職場体験・ インターシップを受け入れる。 | 【継続 廃止】 文部科学省からの委託事業から 国の補助事業への移行により、事 業名が「福山市放課後子ども教室 推進事業」と変更。 放課後子ども教室の内容充実 | 【継続 廃止】 ○スポーツ教室等の開催 ・Happyスポーツ塾・地域スポーツ教室 ・スポーツデリバリーサービス・ふくやま スポーツクラブ・競技力向上事業・競 技人口拡大事業 ○各種大会行事の開催 ・陸上競技場で遊ぼうDAY・ローズア リーナフェア・わくわくヨット教室・ふく やまマラソン・竹ヶ端運動公園水泳場 無料開放 | |
| (予算額:千円) | | | 9,562 | 8,328 |
| 備考 (特記事項) | | 国の補助事業 目標値変更あり 「地域子ども教室」「放課後子 ども教室」に2007年度から変更 | | |

福山市次世代育成支援対策推進行動計画における
具体的な施策(個別事業)の実施状況等報告書

【継続事業用】

| | | | | |
|-------------------|--|---|--|-----------|
| コード | 基本方針 - 基本 施策 - 個別事業 | 3 - 3 - 5 | 3 - 4 - 3 (3 - 5 - 5) | 3 - 5 - 4 |
| 担当部課 | (教) 管理部スポーツ振興課 | 児童部保育課 | (教) 学校教育部指導課 | |
| 具体的な施策 (個別事業名) | 生涯スポーツの振興 (沼隈運動場整備) | 世代間交流事業 | 児童生徒の健全育成の啓発, 指導 | |
| 事業概要 | おとなから子どもまでスポーツを楽しんだり, 世代間交流ができる運動場を整備する。 | 保育所において老人会などと連携して, 世代間交流を行い, 地域の子育て機能の充実を図るもの | 学校教育ビジョンに基づく豊かな心の育成をめざす取組み, 性教育, 関係機関との連携等により, 子どもの健全育成の啓発, 指導を行う。 | |
| 数値目標等 | - | - | - | |
| 現状値 | - | - | - | |
| 目標値 | - | - | - | |

| | | | | |
|--------------|--|---|---|-----------|
| 06年度実施状況等 | 実績値 | | | |
| | 区分 | 【 継続 新規 】 | 【 継続 新規 】 | 【 継続 新規 】 |
| 実施内容及び課題等 | 沼隈運動場整備 ・グラウンド整備 グラウンドコート, 外周, 園路広場, スタンド他 ・防球施設等整備 防球ネット, バックネット, 諸旗掲揚ポール, 防護策 ・夜間照明整備 9基 108灯 ・便所・倉庫整備 | 高齢者とのふれあい(伝承遊び・伝統行事の伝承)のなかで, 核家族では体験しにくい祖父母の温もりを体験するため実施 職場体験学習の中学生を受け入れ, 保育所児童との交流を図る 実施箇所 86箇所 ・公立保育所 73所 ・私立保育所 13所 【課題】 行事に終わらない日常保育での交流が必要 | 性の逸脱行為等に対する保健の教科をはじめ, 特別活動や道徳活動等での指導 問題行動等について関係機関との連携, 組織的な対応の推進 スクールカウンセラーと教師が一体となった家庭への支援 警察の少年サポートセンターとの積極的な連携 定期的, 集中的な学校訪問による実態把握と現状分析, 効果的な指導の実施 | |
| 2007年度計画 | 【 継続 廃止 】 | 【 継続 廃止 】 | 【 継続 廃止 】 | |
| | 沼隈運動場整備 ・北側駐車場整備 | 継続して実施 実施箇所 83箇所 ・公立保育所 70所 ・私立保育所 13所 | 継続して実施 あらゆる機会を通して子どもの規範意識の育成を図っていく。 | |
| (予算額:千円) | 21,000 | 14,560 | 0 | |
| 備考 (特記事項) | | | | |

福山市次世代育成支援対策推進行動計画における
具体的な施策(個別事業)の実施状況等報告書

【継続事業用】

| | | | | |
|-------------------|------------------------|-------------------------------|---|---|
| コード | 基本方針 - 基本 施策 - 個別事業 | 3 - 5 - 8 | 3 - 5 - 9 | 3 - 6 - 3 |
| 担当部課 | | 市民図書館 | 環境部環境保全課 | 児童部保育課 児童部子育て支援課 |
| 具体的な施策 (個別事業名) | | 読書活動の推進に向けた整備 | こどもエコクラブ事業 | 地域住民、民間団体の子育て力の 育成と協働 |
| 事業概要 | | 図書館の蔵書の充実および読書に親しむ環境づくりを推進する。 | 子どもたちが地域において主体的に継続的な環境活動・学習を行う機会を提供し、支援するもの | 地域子育て支援センターや子育てボランティアの養成等を通じた地域住民の子育て力の育成、民間団体と市や関係機関等が実施する子育て支援事業の情報交換の推進を図るもの |
| 数値目標等 | | - | | - |
| | 現状値 | - | | - |
| | 目標値 | - | | - |

| | | | | |
|---------------------------|--------------|---|--|---|
| 06 年度 実施 状況 等 | 実績値 | | | |
| | 区分 | 【 継続 新規 】 | 【 継続 新規 】 | 【 継続 新規 】 |
| | 実施内容及び課題等 | 絵本と出会うふれあい事業 市内の乳幼児健診会場など38ヶ所 で実施。 あかちゃんといっしょのおはなし 会 全図書館で毎月2回実施 おはなし会、工作教室、ビデオ上 映会などを全図書館で実施。 | クラブ数 9クラブ 会員数 423人 【実施内容】 ・磯の生き物調査 ・水生生物調査研修会 ・星空観察会 等 【課題】 ・会員数の拡大 ・各クラブ間の交流の充実 | 子育てボランティア養成にあたっては保護者の置かれている社会状況・親の意識の変化、保育所の役割・支援の状況を支援活動を見学してもらいながら情報提供した。(1講座) 子育て応援センターにおけるファミリー・サポート・センター事業や各種子育てサークルの充実、子育てボランティアの養成等を通じて、地域住民の子育て力の育成を行った。 |
| | 2007年度計画 | 【 継続 廃止 】 全図書館で、絵本と出会うふれあい事業、あかちゃんといっしょのおはなし会、工作教室、ビデオ上映会などを実施する。 | 【 継続 廃止 】 8クラブ、300人程度 研修会・自然観察会開催予定 | 【 継続 廃止 】 引き続きボランティア養成を推進する。 NPO・ボランティアとの連携を図り、協働による子育て事業を推進する。 |
| | (予算額:千円) | | 205 | 0 |
| | 備考 (特記事項) | | | |

福山市次世代育成支援対策推進行動計画における
具体的な施策(個別事業)の実施状況等報告書

【継続事業用】

| | | | | |
|-------------------|--|--|---|--------------------------|
| コード | 基本方針 - 基本 施策 - 個別事業 | 3 - 6 - 4 | 4 - 1 - 1 | 4 - 1 - 3 (2 - 2 - 4) |
| 担当部課 | 福祉総務部福祉総務課 | 福祉総務部福祉総務課 | 児童部子育て支援課 | 児童部子育て支援課 |
| 具体的な施策 (個別事業名) | 地域全体で子育てを見守り、支えあう活動の推進 | 児童虐待防止ネットワークの構築 | 育児支援家庭訪問事業 | |
| 事業概要 | 民生委員児童委員との連携により、地域全体で子育てを見守り、支え合うネットワークづくりを推進する。 | 関係機関との情報の共有、連携による児童虐待の未然防止、早期発見、効果的対応を行うためにネットワークを構築するもの | 出産後間もない家庭を訪問し、育児不安を抱える保護者の相談や指導を行うことにより、家庭で安定した児童の養育ができるよう支援を行うとともに児童虐待の未然防止を図るもの | |
| 数値目標等 | - | 虐待していると思ったこと | - | |
| 現状値 | - | 就学前児童12.7%、小学校児童9.3%(2003年度) | - | |
| 目標値 | - | 減少(2009年度) | - | |

| | | | | |
|--------------|--|---|---|---------|
| 06年度実施状況等 | 実績値 | | 未調査 | |
| | 区分 | 【継続 新規】 | 【継続 新規】 | 【継続 新規】 |
| 実施内容及び課題等 | <p>民生委員児童委員が子育てに関する情報提供や、子どもに関する相談を受けたり、支援を行った。</p> <p>民生委員児童委員が子育てサークルや子ども会等の児童健全育成に関する活動に支援や参画を行った。</p> <p>児童虐待に関して、市やこども家庭センターへ相談や通告を行った。</p> | <p>2005年4月1日設置 福山市行政8部、関係機関・団体20で構成</p> <p>広報ふくやまによる啓発 市民向けリーフレットの作成・配布 児童虐待防止啓発講演会の開催(1回)</p> <p>児童虐待防止啓発用懸垂幕の作成・懸垂 児童虐待防止啓発用ビデオの購入</p> <p>代表者会議(1回) 実務者会議(1回) 実務者研修会の開催(1回) ケース会議(56回) 虐待通告 93件</p> | <p>2005年度から保健センター内に事務室を設け、事業開始。</p> <p>訪問指導員3名 育児家庭訪問員11名配置</p> <p>年間訪問件数 1,455件 初回訪問 1,377件 継続訪問 78件 *市保健師との連携件数135件</p> | |
| 2007年度計画 | 【継続 廃止】 継続して実施 | 【継続 廃止】 引き続き児童虐待防止のための市民啓発に取り組むほか、ネットワーク関係者の研修を行う。 育児、栄養等の相談、子育て支援情報の提供により、虐待の未然防止に取り組む。 要保護児童対策地域協議会への移行について検討する。 | 【継続 廃止】 育児支援家庭訪問指導員 3名 育児家庭訪問員 12名 訪問予定件数 1,600件 | |
| (予算額:千円) | 83,390 | 883 | 11,430 | |
| 備考 (特記事項) | | | | |

福山市次世代育成支援対策推進行動計画における
具体的な施策(個別事業)の実施状況等報告書

【継続事業用】

| | | | |
|-------------------|--|---|-----------|
| コード | 基本方針 - 基本 施策 - 個別事業 | 4 - 2 - 1 | 4 - 2 - 1 |
| 担当部課 | 児童部子育て支援課 | 児童部子育て支援課 | 児童部子育て支援課 |
| 具体的な施策 (個別事業名) | ひとり親家庭等自立支援事業 | ひとり親家庭等自立支援事業 (ひとり親家庭等就業・自立支援センター事業) | |
| 事業概要 | ひとり親家庭の親が就労に有効な資格を取得するための経費の一部の助成、特定の資格を取得する期間に係る給付金の支給、ひとり親家庭の親を常用雇用に転換する事業主に奨励金を支給し、ひとり親家庭の自立を支援するもの | ひとり親家庭の母等に対し、家庭の状況、職業適性、就業経験等に応じ、適切な助言を行う就業相談の実施、習熟度に応じ段階的に実施する就業に結びつきやすい就業支援講習、公共職業安定所と連携した就業情報の提供など一貫した就業支援サービスを提供するとともに養育費の取り決めなど専門家による相談など生活の安定と児童福祉の増進を図る。 | |
| 数値目標等 | - | - | - |
| 現状値 | - | - | - |
| 目標値 | - | - | - |

| | | | |
|--------------|---|---|-----------|
| 06年度実施状況等 | 実績値 | | |
| | 区分 | 【 継続 新規 】 | 【 継続 新規 】 |
| 実施内容及び課題等 | <p>自立支援教育訓練給付金事業 就労に有効な資格を取得するための経費の一部を助成するもの (10件)</p> <p>高等技能訓練促進費事業 経済的自立に効果的な資格を取得するために2年以上修業する間の一定の期間について給付金を支給するもの (7件)</p> | <p>事業委託先：財団法人福山市母子寡婦福祉連合会</p> <p>(1)就業支援事業 2006年12月に無料職業紹介所の許可を受け、家庭の状況、職業適性、就業経験等に応じ、適切な助言や就業相談の実施、就業情報の提供等 相談件数20件 求職件数20件 求人件数6件 紹介件数5件</p> <p>(2)就業支援セミナー 就業経験の無い者、離職期間が長い者、転職を希望する者等を対象とした就業支援セミナーの開催 セミナー2回30人 講習会7回7人</p> <p>(3)特別相談事業 養育費の取り決めや生活上の諸問題の解決のため、弁護士による専門相談の実施 1回3人</p> | |
| 2007年度計画 | 【 継続 廃止 】 | 【 継続 廃止 】 | |
| (予算額:千円) | 継続して実施 | 継続して実施 | |
| 備考 (特記事項) | | | |
| | 9,885 | 2,427 | |

福山市次世代育成支援対策推進行動計画における
具体的な施策(個別事業)の実施状況等報告書

【継続事業用】

| | | | | |
|-------------------|------------------------|--|---|------------------------------------|
| コード | 基本方針 - 基本 施策 - 個別事業 | 4 - 2 - 1 | 4 - 2 - 2 | 4 - 2 - 3 |
| 担当部課 | | 児童部子育て支援課 | 児童部子育て支援課 | 児童部子育て支援課 |
| 具体的な施策 (個別事業名) | | ひとり親家庭等自立支援事業 (母子自立支援プログラム策定事業) | 母子保護の実施 | 母子相談事業 |
| 事業概要 | | 児童扶養手当受給者の状況・ニーズに応じ、自立支援計画書を策定し、きめ細かな自立・就労支援を実施する。 | 配偶者のいない女子又はこれに準ずる事情にある女子及びその者の監護すべき児童を母子生活支援施設に入所させ保護を行うとともに自立を支援するもの | 家庭児童相談室における相談を充実し、母子家庭の自立支援を推進するもの |
| 数値目標等 | | - | - | - |
| 現状値 | | - | - | - |
| 目標値 | | - | - | - |

| 06 年度 実施 状況 等 | 実績値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---------------------------|---|--|--|----------------|------|-----|---|----|-----|---|----|-----|----|----|------|---|----|-----|----|----|
| | 区分 | 【 継続 新規 】 | 【 継続 新規 】 | 【 継続 新規 】 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 実施内容 及び課題等 | 事業委託先：財団法人福山市母子寡婦福祉連合会 | 母子生活支援施設入所状況 (2007年3月末) | 相談員4名配置(ひとり親家庭自立支援員と兼務) 母子世帯の自立支援に向けた相談・助言を行った。 相談件数 3,342件 (母子寡婦福祉資金の貸付・償還相談を含む) | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 就業・自立支援センター内に母子自立支援プログラム策定員を配置した。 | <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th></th> <th>入所世帯</th> <th>入所人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>久松寮</td> <td>6</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>松永寮</td> <td>4</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>小 計</td> <td>10</td> <td>27</td> </tr> <tr> <td>市外委託</td> <td>9</td> <td>22</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>19</td> <td>49</td> </tr> </tbody> </table> <p>久松寮においては、入所者が減少したが、松永寮においては、入所者が増加した。 近年、DV被害を被った母子世帯の市外施設への措置委託が増加している。()</p> | | 入所世帯 | 入所人数 | 久松寮 | 6 | 15 | 松永寮 | 4 | 12 | 小 計 | 10 | 27 | 市外委託 | 9 | 22 | 合 計 | 19 | 49 |
| | 入所世帯 | 入所人数 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 久松寮 | 6 | 15 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 松永寮 | 4 | 12 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 小 計 | 10 | 27 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 市外委託 | 9 | 22 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 合 計 | 19 | 49 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2007年度計画 | 【 継続 廃止 】 | 【 継続 廃止 】 | 【 継続 廃止 】 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 引き続き就業・自立支援センター内に母子自立支援プログラム策定員を配置し、児童扶養手当受給者の自立・就労支援を行う。 | 継続して実施 | 母子家庭自立支援プログラム策定員と連携し、自立支援を推進する。 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| (予算額:千円) | 1,450 | 70,860 | 10,588 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 備 考 (特記事項) | | 市外施設への措置委託料を含む。 (広域措置委託料24,548千円) | 家庭児童相談室事業(2-2-3)と合算 | | | | | | | | | | | | | | | | | |

福山市次世代育成支援対策推進行動計画における
具体的な施策(個別事業)の実施状況等報告書

【継続事業用】

| | | | | |
|-------------------|------------------------|---|---|---|
| コード | 基本方針 - 基本 施策 - 個別事業 | 4 - 2 - 4 | 4 - 3 - 1 | 4 - 3 - 1 |
| 担当部課 | 児童部子育て支援課 | (教) 学校教育部指導課 | (教) 学校教育部指導課 | (教) 学校教育部指導課 |
| 具体的な施策 (個別事業名) | ひとり親家庭への経済的支援 | 障害児の教育 | 障害児教育の推進 (特別支援教育体制推進事業) | 障害児教育の推進 (特別支援教育体制推進事業) |
| 事業概要 | ひとり親家庭への経済的支援を行うもの | 障害のある幼児児童生徒の教育的ニーズを把握し、必要かつ適正な個に応じた教育を推進する。 | 通常学級に在籍する発達障害のある幼児児童生徒への指導支援を、学校体制として組織的に進める。 | 通常学級に在籍する発達障害のある幼児児童生徒への指導支援を、学校体制として組織的に進める。 |
| 数値目標等 | - | - | - | - |
| 現状値 | - | - | - | - |
| 目標値 | - | - | - | - |

| | | | | |
|--------------|--|--|---|-----------|
| 06年度実施状況等 | 実績値 | | | |
| | 区分 | 【 継続 新規 】 | 【 継続 新規 】 | 【 継続 新規 】 |
| 実施内容及び課題等 | 児童扶養手当 コード 2-5-10参照 ひとり親家庭等医療費助成 コード 2-5-6参照 遺児年金 コード 2-5-13参照 母子及び寡婦福祉資金貸付金 コード 2-5-18参照 | 児童生徒の実態や就学前施設での状況、こども家庭センター、医療機関等と連携した総合的な判断による就学指導 特別支援学級、通級指導教室での個に応じた指導の実施 介助員、障害児指導員の配置 発達障害のある児童生徒への理解と対応について教職員の資質向上のための研修の実施 特別支援教育に向けて、校内体制の整備 | 校内委員会の設置 特別支援教育コーディネーターの指名 学校支援員の配置(4月) 特別支援教育コーディネーター研修の実施(年3回) 学校支援員の研修の実施 【課題】 個別の教育支援計画、個別の指導計画の作成 校内体制での特別支援教育の推進 | |
| 2007年度計画 | 【 継続 廃止 】 | 【 継続 廃止 】 | 【 継続 廃止 】 | |
| (予算額:千円) | 継続して実施 | 特別支援学級、通級指導教室の設置 教育内容の充実 介助員、障害児指導員の配置 学校体制による特別支援教育の推進 小中学校20校に学校支援員の配置 | 特別支援教育コーディネーターを中心とした校内体制の機能化による特別支援教育の推進 | 0 |
| 備考 (特記事項) | | 法改正により2007年度から障害児教育は特別支援教育に変わる。 | | 37,128 |

福山市次世代育成支援対策推進行動計画における
具体的な施策(個別事業)の実施状況等報告書

【継続事業用】

| | | | | |
|-------------------|------------------------|--|---|--|
| コード | 基本方針 - 基本 施策 - 個別事業 | 4 - 3 - 3 | 4 - 3 - 4 | 4 - 3 - 5 |
| 担当部課 | | 児童部保育課 | 児童部保育課 学校教育部指導課 | 保健所健康推進課 |
| 具体的な施策 (個別事業名) | | 障害児保育 | ことばの相談室 | 療育相談・療育支援システム |
| 事業概要 | | 家庭において保育に欠ける障 害児を受け入れ、保育の保障を 行なうもの | 言語の発達に課題がある児童 を専門的に指導援助し、その軽 減、克服を図る。 | 疾病や障害を早期に発見し、 適切な支援が行える体制の整備 を行うもの |
| 数値目標等 | | - | - | - |
| | 現状値 | - | - | - |
| | 目標値 | - | - | - |

| | | | | |
|---------------------------|---------------|--|--|--|
| 06 年度 実施 状況 等 | 実績値 | | | |
| | 区分 | 【 継続 新規 】 | 【 継続 新規 】 | 【 継続 新規 】 |
| | 実施内容 及び課題等 | <p>集団保育可能な希望児童につ いて実施(2006年度手帳所持児童41 人,その他課題のある児童約910 人入所)</p> | <p>発音等について保育所,幼稚園 で専門的な指導・支援を実施 実施箇所 保育所 4所 幼稚園 4園 利用人数 保育所 3,431人 幼稚園 3,541人</p> <p>【課題】 件数の増加により,相談回数 の確保が不十分 発達全般にわたる課題の増加に より,保護者への支援が必要</p> | <p>保健事業実施課(健康推進課, 松永保健福祉課,北部保健福祉 課,沼隈保健福祉課,神辺保健福 祉課)において,毎月実施してい る。スタッフは心理相談員・保育士・ 保健師である。</p> <p>実施回数:120回</p> <p>【課題】 療育相談に参加する必要がある にもかかわらず参加しない児童に 対して,訪問等で勧奨しているが, 全員参加に至っていない。</p> |
| | 2007年度計画 | 【 継続 廃止 】 集団保育可能な希望児童につ いて実施 | 【 継続 廃止 】 継続して実施 実施箇所(保育所4,幼稚園4) | 【 継続 廃止 】 療育相談:120回 未参加者の療育相談への参加の 働きかけ,療育支援システムを活 用し,早期支援を図る。 |
| | (予算額:千円) | 438 | 0 | 1 - 2 - 4 に含む |
| | 備 考 (特記事項) | | | |

福山市次世代育成支援対策推進行動計画における
具体的な施策(個別事業)の実施状況等報告書

【継続事業用】

| | | | | |
|-------------------|------------------------|--|---|---|
| コード | 基本方針 - 基本 施策 - 個別事業 | 4 - 3 - 6 | 4 - 3 - 7 | 4 - 3 - 8 |
| 担当部課 | | 福祉部障害福祉課 | 福祉部障害福祉課 | 福山すこやかセンター |
| 具体的な施策 (個別事業名) | | 障害福祉サービス等の充実 | 重症心身障害児(者)通園事業 | 水中活動モデル講座 |
| 事業概要 | | 障害のある児童への早期療育や居宅サービスの支援を行うことで、児童の発達を支援するとともに保護者の負担を軽減する。 | 在宅重症心身障害児(者)に対し、通園により日常生活動作、運動機能などの訓練、指導者や保護者に対し、家庭での療育技術の指導を行うもの | 福山すこやかセンター水浴訓練室において、医師会と連携し、障害児(者)を対象とした水中活動の指導者の育成を図り、障害状況別指導メニューの確立を行うもの。 |
| 数値目標等 | | - | - | - |
| | 現状値 | - | - | - |
| | 目標値 | - | - | - |

| | | | | |
|--------------|-----------|---|--|---|
| 06年度実施状況等 | 実績値 | | | |
| | 区分 | 【継続 新規】 | 【継続 新規】 | 【継続 新規】 |
| | 実施内容及び課題等 | 障害児に障害者自立支援法による次のサービスを提供。 支給件数 ・居宅介護事業 1,518件 ・デイサービス 1,400件 ・短期入所 1,233件 | 在宅の心身障害児(者)に通園により療育支援を行う。 福山若草園(重症心身障害児施設)で実施 登録者数 15人 | 日本ハロウィック水泳法協会によるハロウィック水泳法講習会(2回) 修了者19人 オープン参加型講座(5回) 講義、実技指導、ヘルパー研修 育成された指導者による実技指導 12団体 36回 ハロウィック水泳教室 知的障害児 第1土曜日 身体障害児 第3土曜日 【課題】 ハロウィック水泳法講習会修了者の活動をどのように展開していくか。 グループリーダーの育成。 |
| 2007年度計画 | | 【継続 廃止】 2006年10月から制度が改正されたが、移動支援・デイサービス・日中一時支援については地域生活支援事業によりサービスの提供を継続 | 【継続 廃止】 前年度と同様 開設日 298日 登録 15人 | 【継続 廃止】 フォローアップ研修(5回) オープン参加型講座(5回) 育成された指導者による実技指導 ハロウィック水泳教室(3教室) 講座修了者のフォローアップ研修 日本ハロウィック水泳法協会によるフォローアップ研修 |
| (予算額:千円) | | 18,144 | 17,003 | 2,011 |
| 備考 (特記事項) | | 具体的な施策名の変更 (旧)支援費制度の充実 障害者自立支援法の施行に伴い 事業名変更 | | |

福山市次世代育成支援対策推進行動計画における
具体的な施策(個別事業)の実施状況等報告書

【継続事業用】

| | | | | |
|-------------------|------------------------|---|---------------|---------------|
| コード | 基本方針 - 基本 施策 - 個別事業 | 5 - 1 - 1 | 5 - 1 - 1 | 5 - 1 - 1 |
| 担当部課 | | 人権推進部人権推進課 | 都市部公園緑地課 | 都市部公園緑地課 |
| 具体的な施策 (個別事業名) | | ユニバーサルデザインの推進 | ユニバーサルデザインの推進 | ユニバーサルデザインの推進 |
| 事業概要 | | 年齢、性別、国籍、障害の有無等に関らず、すべての人が快適な暮らしができる社会をめざし、総合的かつ効果的にユニバーサルデザインを推進するもの | 公園出入口車止め改修 | 街路樹等安全対策事業 |
| 数値目標等 | | - | - | - |
| 現状値 | | - | - | - |
| 目標値 | | - | - | - |

| | | | | |
|--------------|--|--|--|-----------|
| 06年度実施状況等 | 実績値 | | | |
| | 区分 | 【 継続 新規 】 | 【 継続 新規 】 | 【 継続 新規 】 |
| 実施内容及び課題等 | 各課より取組についての状況を調査 ユニバーサルデザインの視点に立って施策の実施に取組、職員の理解や接遇等心のユニバーサルデザインの充実が図られてきた。 道路や建物整備においてもユニバーサルデザインの考え方を取り入れた事業がなされ、市民の利便性の向上・安全確保に資しているが、まだ市民に理解されていない面もあり、引続き啓発活動による市民意識の高揚を図っていく必要がある。 | 公園出入口車止め改修 2箇所 課題として、入口が拡がり、バイク等の不法侵入もありえる。 | 街路樹等により、歩行者等の通行に支障をきたしている箇所について、支障の状況に応じ、維持補修を計画的に推進し、歩行者等の安全を確保した。 18区域 | |
| 2007年度計画 | 【 継続 廃止 】 各種研修会での啓発や資料を活用しての周知に努める。 | 【 継続 廃止 】 公園出入口車止め改修 10箇所 | 【 継続 廃止 】 18区域 | |
| (予算額:千円) | | 1,300 | 4,000 | |
| 備考 (特記事項) | | | | |

福山市次世代育成支援対策推進行動計画における
具体的な施策(個別事業)の実施状況等報告書

【継続事業用】

| | | | | |
|-------------------|------------------------|---|--|--|
| コード | 基本方針 - 基本 施策 - 個別事業 | 5 - 1 - 2 | 5 - 2 - 1 | 5 - 2 - 1 |
| 担当部課 | | 市民部生活安全推進課 | 児童部保育課 | 人権推進部青少年課 |
| 具体的な施策 (個別事業名) | | 生活安全モデル地域の指定 | 子どもの安全確保 | 子どもの安全確保 |
| 事業概要 | | 生活安全モデル地域を指定し、住民参加のもと、安心して子育てができる安全なまちづくりを推進する。 | 保育所、幼稚園、学校、家庭、地域が一体となった危機管理体制を確立し、子どもの安全確保に努めるもの | 保育所・幼稚園・学校・家庭・地域が一体となった危機管理体制を確立し、子どもの安全確保に努めるもの |
| 数値目標等 | | - | - | - |
| | 現状値 | - | - | - |
| | 目標値 | - | - | - |

| | | | | |
|--------------|-----------|--|--|--|
| 06年度実施状況等 | 実績値 | | | |
| | 区分 | 【 継続 新規 】 | 【 継続 新規 】 | 【 継続 新規 】 |
| | 実施内容及び課題等 | <p>実施内容 住民参加のもと、安心して安全に暮らせるまちづくりを推進する地域に、年額10万円×2年間を助成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・継続1地域 (深津学区) ・新規3地域 (長浜学区, 明王台学区, 戸手学区) <p>課題 モデル地域の指定期間のみでなく継続した取組みと、モデル地域の成果を他の地域に拡げることが望まれる。</p> | <p>公立全所へ緊急通報システムの導入</p> <p>緊急通報システムを含めた各保育所における危機管理安全対応マニュアルの作成</p> | <p>各学区の青少年補導員協議会、まちづくり推進委員会の構成団体や地域住民と連携を図りながら、登下校時の見守りや、不審者情報の共有化を図るとともに、非行防止・環境浄化を中心とした補導活動など、地域におけるパトロールを実施した。</p> |
| 2007年度計画 | | 【 継続 廃止 】 | 【 継続 廃止 】 | 【 継続 廃止 】 |
| | | <ul style="list-style-type: none"> ・継続3地域 (長浜学区, 明王台学区, 戸手学区) ・新規3地域 | <p>緊急通報システムを含めた各保育所における危機管理安全対応マニュアルの職員への周知徹底</p> <p>「福山市保育カリキュラム」に児童の安全確保に対する内容を入れ意識向上を図る</p> | <p>地域における子どもの安全確保のため、関係機関・団体や地域住民に対して、先進的な取組事例などを情報提供するとともに、広く市民に周知を図り、子どもの安心・安全や地域防犯に対する意識の高揚に取り組む。また、関係機関・団体等や関係部署と連携を図りながら、これまでの事業を継続しながら、さらに充実・強化する。</p> |
| (予算額:千円) | | 600 | | 1,560 |
| 備考 (特記事項) | | | | |

福山市次世代育成支援対策推進行動計画における
具体的な施策(個別事業)の実施状況等報告書

【継続事業用】

| | | | | |
|-------------------|------------------------|--|---|---|
| コード | 基本方針 - 基本 施策 - 個別事業 | 5 - 2 - 1 | 5 - 2 - 1 | 5 - 2 - 1 |
| 担当部課 | | 人権推進部青少年課 | 人権推進部青少年課 | (教) 学校教育部指導課 |
| 具体的な施策 (個別事業名) | | 子どもの安全確保 (パトロール用ベスト配布事業) | 子どもの安全確保 (通学路沿い公共施設 安全対策事業) | 子どもの安全確保 |
| 事業概要 | | 学区青少年補導員に対し、子どもの安全確保及び街頭補導のための、パトロール用ベストを配布し、積極的な活動を促進するもの | 通学路沿いの公共施設に防犯カメラシステムを設置し、通学途中の児童等の防犯を図るもの | 保育所、幼稚園、学校、家庭、地域が一体となった危機管理体制を確立し、子どもの安全確保に努める。 |
| 数値目標等 | | - | - | - |
| | 現状値 | - | - | - |
| | 目標値 | - | - | - |

| | | | | |
|---------------------------|--------------|--|--|--|
| 06 年度 実施 状況 等 | 実績値 | | | |
| | 区分 | 【 継続 新規 】 | 【 継続 新規 】 | 【 継続 新規 】 |
| | 実施内容及び課題等 | 市内78学区の青少年補導員約1,900人がパトロール用ベストを着用し、地域における見守り活動を実施するなど、子どもの安全確保に努めるとともに、非行防止・環境浄化等、積極的な活動を展開した。 | 通学路沿いの公共施設3か所に、防犯カメラシステム(防犯灯・カメラ・緊急ボタンの3点セット)を設置し、児童・生徒等の安全確保とともに、地域の安全対策を図った。 | 危機管理マニュアルによる安全性の確保 安全確保のための保育所、幼稚園、学校、家庭、地域の連携の強化 小学校の緊急通報システムを活用した緊急時対応訓練を実施 保育所、幼稚園、放課後児童クラブへ緊急通報システムを導入 全園児・児童へ防犯ブザーを配布 スクールガードリーダー導入による地域連携等の指導助言 スクールサポートボランティア事業を実施 児童生徒による地域安全マップ作成の取組みを推進 |
| | 2007年度計画 | 【 継続 廃止 】 | 【 継続 廃止 】 | 【 継続 廃止 】 |
| | (予算額:千円) | 0 | 4,323 | 2,920 |
| | 備考 (特記事項) | | 前年度実施分に加え、2007年度も新たに防犯カメラシステムを設置することにより、児童・生徒等の安全確保とともに、地域の安全対策をさらに強化する。 | 継続して実施 |

福山市次世代育成支援対策推進行動計画における
具体的な施策(個別事業)の実施状況等報告書

【継続事業用】

| | | | | |
|-------------------|--|---|---|-----------|
| コード | 基本方針 - 基本 施策 - 個別事業 | 5 - 2 - 1 | 5 - 2 - 1 | 5 - 2 - 1 |
| 担当部課 | 児童部子育て支援課 | 児童部庶務課 他() | (教) 学校教育部指導課 | |
| 具体的な施策 (個別事業名) | 子どもの安全確保 (児童安全啓発事業) | 子どもの安全確保 (保育所, 幼稚園, 放課後児童クラ ブへの緊急通報システム整備) | 子どもの安全確保 (児童生徒安全確保対策) | |
| 事業概要 | 子どもを犯罪などの危険から 守るために保護者や地域住民 が, 子どもの安全についてより 理解を深め見守っていくととも に, 子ども自身が危険から回避 できる力を身につけていく啓発 を行う。 | 保育所, 幼稚園, 放課後児童クラブに おける不審者の侵入や事故などの有事 に備えて, 園児, 児童の安全を確保す るため, 保育所に緊急通報システム (注)を整備し, 安全対策の態勢強化を 図る。 (注) 緊急時に県警本部総合指令室に自動 通報し, 発信元を直接確認でき, 相互に 通話が可能。 | 不審者情報を受信希望者(保護 者, 教育関係団体及び地域の各 種団体)に, 携帯電話等のメール 機能を利用したメール配信によ り, 情報提供し, 園児・児童生 徒の安全確保を図る。 | |
| 数値目標等 | | - | - | |
| 現状値 | | - | - | |
| 目標値 | | - | - | |

| | | | | |
|---------------------------|---|--|-----------------------|-----------|
| 06 年度 実施 状況 等 | 実績値 | | - | |
| | 区分 | 【 継続 新規 】 | 【 継続 新規 】 | 【 継続 新規 】 |
| 実施内容 及び課題等 | 子育て支援課, 保育課, 青少年 課, 指導課が共同し, 『子ども安心 安全啓発ガイドブック えがおでた だいま!』(A4判16頁)を作成 70,000部発行 | 整備対象施設 ・保育所 市立75施設 私立45施設 ・幼稚園 市立24施設 私立21施設 ・放課後児童クラブ 71施設 機器の機能 緊急時に県警本部総合指令室に自動 通報 県警本部総合指令室で発信元を直接 確認でき, 相互に通話が可能 私立施設への整備については, 補助 制度創設 | 7月より不審者情報メール配信を 実施 | |
| 2007年度計画 | 【 継続 廃止 】 2007年4月より主な対象者(保育 園児・幼稚園児・小学生とその家 庭)に順次配布。 | 【 継続 廃止 】 市立の保育所・幼稚園及び放課 後児童クラブの緊急通報システム 維持管理 東村放課後児童クラブへ緊急通 報システムの整備 | 【 継続 廃止 】 継続して実施 | |
| (予算額:千円) | | 3,394 | 3,780 | |
| 備考 (特記事項) | | その他の関係部署 (教) 学校教育部指導課 (教) 社会教育部社会教育振興課 | | |

福山市次世代育成支援対策推進行動計画における
具体的な施策(個別事業)の実施状況等報告書

【継続事業用】

| | | | | |
|-------------------|---|---|---|-----------|
| コード | 基本方針 - 基本 施策 - 個別事業 | 5 - 2 - 1 | 5 - 2 - 1 | 5 - 2 - 1 |
| 担当部課 | (教) 学校教育部指導課 | 市民部協働のまちづくり課 | (教) 管理部施設課 | |
| 具体的な施策 (個別事業名) | 子どもの安全確保 (通学時安全確保対策) | 子どもの安全確保 | 子どもの安全確保 (通学路防犯灯整備) | |
| 事業概要 | <p>小学校新入生に防犯ブザー・ランドセル用防犯ブザーストラップ及びランドセルシールを配布する。</p> <p>防犯ブザー配布時に、取り扱いについて指導し、児童が危険から自分を守ることでできる危険回避能力の育成を図る。</p> | <p>情報提供用ファックスを購入し、必要に応じて各学(地)区自治会(町内会)連合会長宅へ貸与する。</p> <p>地域における安全確保のための注意や対策が必要と思われる不審者情報や災害情報等を提供することにより、地域における子どもや市民の安全確保体制を支援する。</p> | <p>通学路に防犯灯を設置することにより、通学時の児童・生徒の安全確保と地域住民の安全対策を図る。</p> | |
| 数値目標等 | - | - | - | |
| 現状値 | - | - | - | |
| 目標値 | - | - | - | |

| | | | | |
|--------------|---|--|---|-----------|
| 06年度実施状況等 | 実績値 | | | |
| | 区分 | 【 継続 新規 】 | 【 継続 新規 】 | 【 継続 新規 】 |
| 実施内容及び課題等 | <p>防犯ブザー 5,000個 ランドセル用防犯ブザー ストラップ 5,000本 ランドセルシール 5,000枚</p> <p>全小学校新入生に配布した。 対象は2007年(平成19年)4月入学予定の新入生</p> | <p>情報提供用ファックスを購入し、ファックスを持っていない各学(地)区自治会(町内会)連合会長宅へ貸与し、地域における安全確保のための注意や対策が必要と思われる不審者情報や災害情報等を提供することにより、地域における子どもや市民の安全確保体制を支援した。</p> <p>全学(地)区自治会(町内会)連合会長宅に設置していないため、引き続き設置するように取組む必要がある。</p> | <p>小学校(78校)・中学校(36校)の各校区内に993基設置した。</p> | |
| 2007年度計画 | 【 継続 廃止 】 | 【 継続 廃止 】 | 【 継続 廃止 】 | |
| | <p>防犯ブザー 5,000個 ランドセル用防犯ブザー ストラップ 5,000本 ランドセルシール 5,000枚</p> <p>対象は2008年(平成20年)4月入学予定の新入生</p> | <p>81学(地)区自治会(町内会)のうち、現在77学(地)区設置しており、残りの4学(地)区への設置に取組む。</p> <p>2006年度に引き続き、不審者情報や災害情報等を提供する事業を実施する。</p> | | |
| (予算額:千円) | 2,490 | 250 | | |
| 備考 (特記事項) | | | | |

福山市次世代育成支援対策推進行動計画における
具体的な施策(個別事業)の実施状況等報告書

【継続事業用】

| コード | 基本方針 - 基本 施策 - 個別事業 | 5 - 2 - 1 | 5 - 2 - 2 | 5 - 2 - 3 |
|-------------------|------------------------|---|-------------------------------|---|
| 担当部課 | | 市民部生活安全推進課 | 人権推進部青少年課 | 人権推進部青少年課 |
| 具体的な施策 (個別事業名) | | 子どもの安全確保 (生活安全パトロール車による 子ども見守り事業) | 非行防止活動の推進 | 「こども110番の家」推進事業 |
| 事業概要 | | 公用車両に青色回転灯及び放送設備を装備し、公務連絡経路等において、防犯・交通安全等の街頭啓発を実施するほか、不審者対応など、子どもの見守り活動を行う。 | 関係機関・団体等との連携強化による非行防止の推進を図るもの | 子どもを犯罪等の被害から守るため、市内全学区に「こども110番の家」の活動を実施し、地域の住民と連携して、子どもを被害から守る活動の支援を行うもの |
| 数値目標等 | | - | - | - |
| 現状値 | | - | - | - |
| 目標値 | | - | - | - |

| | | | | |
|--------------|---|--|---|-----------|
| 06年度実施状況等 | 実績値 | | | |
| | 区分 | 【 継続 新規 】 | 【 継続 新規 】 | 【 継続 新規 】 |
| 実施内容及び課題等 | 公務連絡車両等16台を白黒に塗装し、青色回転灯、放送設備を装備した生活安全パトロール車により、子どもの見守り・交通安全啓発及び防犯啓発活動を実施した。また、公務連絡中のパトロールに加え、下校時における通学路や危険箇所のパトロール、「不審者情報」があった場合の重点巡回パトロールを行っている。 | 関係機関・団体等に対し、情報提供を実施するとともに、連携強化を図る中で活動支援を実施した。また、青少年補導員協議会や中央少年補導員協議会等を対象とした会議・研修会を実施した。 | 防犯に関する意識啓発・PRの推進や、「こども110番の家」表示プレートやマニュアルを作成し、配布した。また、地域での活動に対する支援の推進を図るとともに、情報の共有化を図るため、「こども110番の家だより」を発行した。 協力軒数 5,775軒 (2006年8月末) | |
| 2007年度計画 | 【 継続 廃止 】 継続して実施 | 【 継続 廃止 】 関係機関・団体等に対し、情報提供を実施するとともに、連携強化を図る中で活動支援を、一層充実したものとする。 また、青少年補導員協議会や中央少年補導員協議会等を対象とした会議・研修会を実施する。 | 【 継続 廃止 】 「こども110番の家」をさらに拡充し強化を図るとともに、情報の共有化を充実するため、2005年度から発行した「こども110番の家だより」を年数回発行する。また、学区青少年補導員協議会等との連携を図るとともに、2007年度から、市内事業者の取組と連携しネットワーク化を図る。 | |
| (予算額:千円) | | 2,480 | 500 | |
| 備考 (特記事項) | | | | |

福山市次世代育成支援対策推進行動計画における
具体的な施策(個別事業)の実施状況等報告書

【継続事業用】

| | | | | |
|-------------------|------------------------|---|--|---------------------------------|
| コード | 基本方針 - 基本 施策 - 個別事業 | 5 - 3 - 1 | 5 - 4 - 1 | 5 - 4 - 2 |
| 担当部課 | | 人権推進部青少年課 | 市民部生活安全推進課 | 市民部生活安全推進課 |
| 具体的な施策 (個別事業名) | | 社会環境浄化活動の推進 | 交通安全教室 | チャイルドシート着用の啓発 |
| 事業概要 | | 行政、関係機関、関係団体等が連携を強化する中で、家庭、学校、地域が一体となって、青少年の健全育成に取り組むもの | 小中学校の入学児童や保育所入所児童、幼稚園児を対象に、交通公園における参加・体験・実践型の交通指導や交通安全教育専門員の派遣による移動交通安全教室、「交通ファミリーランド」を開催し、交通安全意識の普及啓発を行うもの。 | 乳幼児の安全確保のため、チャイルドシート着用の啓発を行うもの。 |
| 数値目標等 | | - | - | - |
| 現状値 | | - | - | - |
| 目標値 | | - | - | - |

| | | | | |
|--------------|--|---|--|-----------|
| 06年度実施状況等 | 実績値 | | | |
| | 区分 | 【 継続 新規 】 | 【 継続 新規 】 | 【 継続 新規 】 |
| 実施内容及び課題等 | 関係機関・団体等と連携する中で、少年社会環境浄化モニターによる実態調査及び啓発活動を実施した。 また、関係業界に対し、環境浄化への協力を依頼した。 | 実施内容 交通安全教育専門員 4名配置 交通安全教室開催数 447回 参加者数 延べ54,748人 課題 教室開催未実施の保育所等へ開催依頼を行う。 | 各種イベント開催時等において、チラシを配布し啓発を行った。 引き続き着用の啓発を推進する。 | |
| 2007年度計画 | 【 継続 廃止 】 前年度の実施内容をさらに充実・強化し、環境浄化に努める。 | 【 継続 廃止 】 交通安全教室 開催数 約460回 参加者数 約5,600人 | 【 継続 廃止 】 各種イベント開催時等において、チラシ、リーフレットを配布し啓発を行う。 | |
| (予算額:千円) | 687 | 8,711 | 0 | |
| 備考 (特記事項) | | | | |

2007年度(平成19年度)
新 規 事 業

【新規事業用】

| | | | | |
|-------------------|--|--|---|-----------|
| コード | 基本方針 - 基本 施策 - 個別事業 | 2 - 1 - 1 | 4 - 3 - 9 | 5 - 2 - 1 |
| 担当部課 | 児童部庶務課 | 福祉部障害福祉課 | 人権推進部青少年課 | |
| 具体的な施策 (個別事業名) | 保育サービスの充実 (保育所児童保育環境の改善) | 障害児通園施設利用者 負担軽減事業 | 地域安全マップ普及推進事業 | |
| 事業概要 | 老朽化が進行する保育所の大型遊具の更新, 空調設備の整備及びトイレの洋式化を進めるなど, 保育環境を改善し児童福祉の向上を図る。 | 障害のある児童への早期療育を進めるため保護者の負担を軽減する。 障害者自立支援法の施行に伴い児童福祉法が改正され障害児施設を利用する保護者の負担が増した。このため、市独自に障害児通園施設を利用する一定所得に満たない保護者が監護する児童の食事負担を軽減する事業を創設した。 | ・「地域安全マップセミナー」を開催し, 指導者を養成・派遣するもの ・地域安全マップ作成品・教材ビデオの貸出しや指導者を派遣し, 地域におけるマップ作成を推進するもの ・「子どもの安心・安全連続講座」を開催し, 子どもの安全や地域防犯に関する知識を深めるとともに, 地域の実践活動を促進するもの | |
| 数値目標等 | - | | | |
| 現状値 | - | | | |
| 目標値 | - | | | |

| | | | |
|--------------|--|--|--|
| 2007年度計画 | <p>保育所保育室空調設備整備 保育室の適温管理のため, 夏季に高温となる2階の保育室に空調設備を整備する。</p> <p>保育所大型遊具更新整備 大型遊具について, 安全性, 経過年数及び老朽化度等を総合的に勘案し, 計画的に更新する。</p> <p>保育所トイレの洋式化 保育所トイレの洋式化に目標値を掲げ取り組みます。 【目標値】 3才未満…1所当りおおむね70%以上 3才以上…1所当りおおむね50%以上</p> | <p>対象 5施設 51人</p> <p>法人に次の補助金を交付することにより, 利用者負担を軽減する。 障害児通園施設利用者の食事負担の軽減に要する費用 低所得者は1食につき160円, その他世帯は1食につき420円を助成する。 障害児通園施設と保育園・幼稚園を併せて利用する場合の利用料 障害児通園施設の利用者負担の全額を助成する。</p> | <p>地域における犯罪を未然に防止するため, 市内全学区を対象に, 「地域安全マップ作成セミナー」の開催や, 「地域安全マップ作成品・教材ビデオ」の貸出し・指導者の派遣を行い, 地域における安全マップ作成を推進する。 また, 「子どもの安心・安全連続講座」を開催し, 子どもの安全や地域防犯に関する知識を深めるとともに, 地域の実践活動を促進する。</p> |
| (予算額:千円) | 48,700 | 5,775 | 456 |
| 備考 (特記事項) | | | |